



令和 6 年度 武蔵野市子ども議会 会議録



令和 6 年 8 月 18 日



議長あいさつ

皆様、こんにちは。武蔵野市議会議長を務めております落合勝利でございます。本日は、市議会主催としては第1回目となる子ども議会の開催に際し、市内の各中学校より御参加いただきまして、誠にありがとうございます。また、御多用のところ、そしてまた猛暑の中、御家族の方をはじめとして、多くの関係者の方に傍聴の御参加をいただき、厚く御礼を申し上げます。また、学校関係者におかれましては、この間、御理解、御協力を賜りましたことに深く感謝申し上げます。



武蔵野市では令和5年4月より、武蔵野市子どもの権利条例が施行されました。その理念には、子どもは大人と同じ1人の人間として権利を持っています。子どもだけが持っている権利もあります。自分らしく安心して過ごすことができるように、一人一人の権利が守られなければなりませんと示されております。権利を守るためには、声を上げていかなければいけません。その一つの機会として、子ども議会はこれから大きな役割を担うと思っております。

一方で、市議会としては、令和2年に議会基本条例の制定、施行となりました。この条例では、広く市民の意見を受け止め、市政の発展、福祉の向上に努めていくことが明記されております。選挙権の有無にかかわらず、子どもたちも大事な主体者であります。それぞれの視点や意見をしっかり受け止めていくことが必要であります。これらを私たちの取組として実現させていくために、このたびの子ども議会の開催に至ったものと御理解いただければ幸いです。

今回は中学生を対象として実施をさせていただきますが、小学生や高校生、また公立、私立の子どもたちを対象とした子ども議会の開催につなげていきたいと考えております。皆様の御理解と御協力を心よりお願い申し上げまして、私からの御挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

令和6年度 武蔵野市子ども議会 会議録目次

1	実施要領	1
2	参加者名簿	2
3	会期日程	3
4	議事日程	4
5	席次表	5
6	会議録	6
	(1) 第三中学校	9
	(2) 第五中学校	14
	(3) 第四中学校	21
	(4) 第二中学校	25
	(5) 第六中学校	30
	(6) 第一中学校	34
7	当日プレゼン資料	41
8	アンケート結果	59
9	その他写真	63

令和6年度 武蔵野市子ども議会 実施要領

1 目的

次世代を担う子どもたちに地方行政や地方議会を理解してもらい、子どもたちが考える市政に対する意見を市政などに反映する。

2 開催日時・場所

令和6年8月18日（日曜日） 午後2時から4時まで

武蔵野市役所7階 武蔵野市本会議場

3 参加者

市立中学校6校の生徒 16人、市議会議員 26人、市長

4 当日までのスケジュール

日付	時間	場所	内容
令和6年6月1日 （土曜日）	午後4時から 6時まで	議会委員会室	第1回ミーティング ○議会運営委員会委員の自己紹介 ○子ども議会の趣旨説明 ○Gikaiクイズ ○子ども議員の自己紹介 ○グループワーク 他校との意見交換 学校ごとにプレゼンテーマの検討
令和6年7月17日 （水曜日）			第2回ミーティング ○学校ごとにプレゼン内容の検討、 資料作成

5 当日の日程

①開会（議長）→ ②来賓挨拶（市長）→ ③一般質問（学校ごと）→ ④答弁（議員）
→⑤閉会挨拶（副議長）→ ⑥記念撮影

6 その他

子ども議会の企画運営は議会運営委員会委員（川名ゆうじ、木崎剛、大野あつ子、深田貴美子、宮代一利、与座武、橋本しげき、山本ひとみ、西園寺みきこ）により実施し、答弁を行った。

また、市教育委員会及び市立中学校校長会の協力をいただいた。

令和 6 年度 武蔵野市子ども議会 参加者名簿

	学校	学年クラス	氏名	ふりがな
1	武蔵野市立第一中学校	2 年 B 組	松本 紗弥	まつもと さや
2	武蔵野市立第一中学校	2 年 D 組	石橋 はな	いしばし はな
3	武蔵野市立第一中学校	2 年 D 組	中嶋 しづ	なかじま しづ
4	武蔵野市立第二中学校	2 年 B 組	後藤 可也子	ごとう かやこ
5	武蔵野市立第二中学校	2 年 C 組	山下 珠希	やました たまき
6	武蔵野市立第二中学校	3 年 D 組	熊本 悠亜	くまもと ゆうあ
7	武蔵野市立第三中学校	2 年 2 組	吉田 綸	よしだ いと
8	武蔵野市立第三中学校	2 年 3 組	大場 あい子	おおば あいこ
9	武蔵野市立第三中学校	2 年 3 組	金森 結彩	かなもり ゆあ
10	武蔵野市立第四中学校	2 年 2 組	金坂 芽依	かねさか めい
11	武蔵野市立第四中学校	2 年 4 組	静 優月	しずか ゆづき
12	武蔵野市立第五中学校	2 年 A 組	林 杏樹	はやし あんじゅ
13	武蔵野市立第五中学校	2 年 B 組	本橋 春虎	もとはし はるとら
14	武蔵野市立第五中学校	2 年 C 組	布施 陽都	ふせ はると
15	武蔵野市立第六中学校	2 年 B 組	足立 帆乃香	あだち ほのか
16	武蔵野市立第六中学校	3 年 A 組	藪田 心結	やぶた みゆ

令和6年第1回武蔵野市子ども議会日程表

会
期
一
日
間

月 日	曜	開 議 時 刻	会 議 名	会 議 室	付 議 事 件
8. 18	日	14:00	本 会 議	本 会 議 場	・一般質問

令和6年第1回武蔵野市子ども議会議事日程
第1号

令和6年8月18日（日曜日）午後2時 開議

第1 会期の決定

第2 諸報告

第3 一般質問

1 交通安全・学校交流について

第三中学校

1 番 大場あい子 君

2 番 金森 結彩 君

2 左利きの生活、登下校の苦勞、学校交流について

第五中学校

12番 林 杏樹 君

13番 本橋 春虎 君

14番 布施 陽都 君

3 学習者用コンピューターとALTの先生について

第四中学校

5 番 金坂 芽依 君

6 番 静 優月 君

4 武蔵野市の生活を快適にについて

第二中学校

9 番 後藤可也子 君

10番 山下 珠希 君

11番 熊本 悠亜 君

5 スタディカフェについて

第六中学校

7 番 足立帆乃香 君

8 番 藪田 心結 君

6 リュックの軽量化について

第一中学校

3 番 松本 紗弥 君

4 番 中嶋 しづ 君

令和6年度第1回武蔵野市子ども議会 席次表

席聽席

六中	7	足立	帆乃香			
	8	藪田	心結			
二中	9	後藤	可也子			
	10	山下	珠希			
	11	熊本	悠亜			
五中	12	林	杏樹			
	13	本橋	春虎			
	14	布施	陽都			

三	1	大場	あい子
三	2	金森	結彩
一	3	松本	紗弥
一	4	中嶋	しづ
四	5	金坂	芽依
四	6	静	優月

[illegible]

令和6年武蔵野市子ども議会会議録第1号 (第1回)

8月18日(日曜日)

○出席子ども議員(14名)

1番	大場 あい子 君	2番	金森 結彩 君
3番	松本 紗弥 君	4番	中嶋 しづ 君
5番	金坂 芽依 君	6番	静 優月 君
7番	足立 帆乃香 君	8番	藪田 心結 君
9番	後藤 可也子 君	10番	山下 珠希 君
11番	熊本 悠亜 君	12番	林 杏樹 君
13番	本橋 春虎 君	14番	布施 陽都 君

○出席市議会議員(26名)

1番	道場 ひでのり 君	2番	きくち 由美子 君
3番	大野 あつ子 君	4番	深田 貴美子 君
5番	東山 あきお 君	6番	宮代 一利 君
7番	本多 夏帆 君	8番	ひがし まり子 君
9番	小林 まさよし 君	10番	浜田 けい子 君
11番	落合 勝利 君	12番	菅 源太郎 君
13番	さこう もみ 君	14番	藪原 太郎 君
15番	蔵野 恵美子 君	16番	木崎 剛 君
17番	山崎 たかし 君	18番	与座 武 君
19番	橋本 しげき 君	20番	三島 杉子 君
21番	本間 まさよ 君	22番	山本 ひとみ 君
23番	下田 ひろき 君	24番	西園寺 みきこ 君
25番	川名 ゆうじ 君	26番	深沢 達也 君

○欠席議員

なし

○来賓

市長 小美濃 安弘 君

○出席事務局職員

事務局長 菅原 誠治 君 事務局次長 村瀬 健大 君

○議事日程第 1 号

令和 6 年 8 月 18 日（日曜日） 午後 2 時 開議

第 1 会期の決定

第 2 諸報告

第 3 一般質問

1 交通安全・学校交流について

第三中学校

1 番 大場あい子 君

2 番 金森 結彩 君

2 左利きの生活、登下校の苦労、学校交流について

第五中学校

12 番 林 杏樹 君

13 番 本橋 春虎 君

14 番 布施 陽都 君

3 学習者用コンピューターと A L T の先生について

第四中学校

5 番 金坂 芽依 君

6 番 静 優月 君

4 武蔵野市の生活を快適にについて

第二中学校

9 番 後藤可也子 君

10 番 山下 珠希 君

11 番 熊本 悠亜 君

5 スタディカフェについて

第六中学校

7 番 足立帆乃香 君

8 番 藪田 心結 君

6 リュックの軽量化について

第一中学校

3 番 松本 紗弥 君

4 番 中嶋 しづ 君

***** 午後 2 時 0 0 分 子ども議会 開 会 *****

○議 長（落合勝利君） ただいまより令和 6 年第 1 回武蔵野市子ども議会を開会いたします。

これより本日の会議を開きます。

初めに、市長より発言を求められておりますので、これを許します。



○市 長（小美濃安弘君） 皆さん、こんにちは。御紹介いただきました武蔵野市長、小美濃安弘でございます。今日は武蔵野市議会第1回子ども議会が開催されますこと、誠にうれしく思っております。

どうですか、皆さん、そこは実際にいつも、ここにいる市議会議員さんが座って、様々な意見や提案を市にいただいているところです。座り心地はいかがでしょう。今日は皆様方が市政に対して様々な御意見や、そして御提案をいただけるということを伺っております。特に、先ほどちょっと見させていただきましたけども、いかに学校生活をよくしていくのか、また、勉強する環境をどうしていくのか、ひいては武蔵野市政をどうしていくのかというような提案をいただけるものと期待をしているところでございます。私ども大人にとっては、皆さんの意見というのも大変重要な意見になってくる、とても想像もつかないような意見が出てくるのではないのかなということで、今からわくわくしているところであります。

先ほど落合議長から、子どもの権利条例の話がございました。この子どもの権利条例の中には、子どもは自由に意見が言える、言うことができる、そしてその意見は尊重するということが書いてあります。今日は、そういう意味では皆様の自由かつ達な意見を伺わせていただいて、しっかりと尊重させていただければなど、こんなふうに思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

今日のこの子ども議会が皆様にとりまして、よりよい議会になることを心から御祈念申し上げ、挨拶いたします。今日はよろしくお願いいたします。

○議 長（落合勝利君） これより議事に入ります。

本日の議事は、日程第1号をもって進めます。

日程第1 会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。今期子ども議会の会期は、本日1日といたしたいと思いますが、これに異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議 長（落合勝利君） 異議ないものと認めます。よって、今期子ども議会の会期は1日と決定いたしました。

○議 長（落合勝利君） 次に、日程第2 諸報告を行います。

局長に報告させます。

○事務局長（菅原誠治君） それでは、本日の出席議員の紹介をいたしますので、名前を呼ばれましたら、元気よく返事をして、起立をしてください。

第三中学校、1番、大場あい子議員、2番、金森結彩議員。

第一中学校、3番、松本紗弥議員、4番、中嶋しづ議員。

第四中学校、5番、金坂芽依議員、6番、静 優月議員。

第六中学校、7番、足立帆乃香議員、8番、藪田心結議員。

第二中学校、9番、後藤可也子議員、10番、山下珠希議員、11番、熊本悠亜議員。

第五中学校、12番、林 杏樹議員、13番、本橋春虎議員、14番、布施陽都議員。

以上です。

○議長（落合勝利君） 以上をもって諸報告を終わります。

○議長（落合勝利君） 次に、日程第3 一般質問を行います。

交通安全、学校交流について、第三中学校、1番大場あい子議員、2番金森結彩議員。

（1 番 大場あい子君、2 番 金森結彩君 登壇）（拍手）



○1 番（大場あい子君） こんにちは。武蔵野市立第三中学校の大場と。

○2 番（金森結彩君） 金森です。私たちは武蔵野市について、交通安全、学校交流の2つの目線で考えました。

1つ目は学校交流についてです。

○1 番（大場あい子君） そろそろ文化祭だね。

○2 番（金森結彩君） 楽しみだね。

○1 番（大場あい子君） そういえば、ほかの学校の文化祭ってどんな感じなのだろう。

○2 番（金森結彩君） 確かに。よく知らないね。

○1 番（大場あい子君） 何かお知らせとかあったらいいね。

○2 番（金森結彩君） ね。

そこで、私たちが提案するのは、こちらのようなお知らせです。

○1 番（大場あい子君） これは、市内の中学校の文化祭についてのお知らせです。これをクラスルームや手紙の形にして生徒に共有します。

○2 番（金森結彩君） このお知らせを使用することで、他校の文化祭に参加しやすくなるという効果が期待できます。

○1 番（大場あい子君） また、他校の文化祭に参加しやすくなることによって、自分の学校の生徒以外にもコミュニケーションを取ることができ、対人関係の向上も図ることができます。

○2 番（金森結彩君） 日頃の学校生活に対するモチベーションの向上にもつながります。

○1 番（大場あい子君） コロナウイルスの流行防止のための規制も緩和された今、学校間での交流の機会を設けてもよいのではないのでしょうか。

○2 番（金森結彩君） いよいよ文化祭、始まったね。

○1 番（大場あい子君） そうだね。めっちゃ楽しいね。

- 2 番（金森結彩君） たまに想像するのだけど、もっと大きな文化祭ができれば、さらに楽しそうじゃない。
- 1 番（大場あい子君） 確かに。やる気も出るよね。
- 2 番（金森結彩君） ほかの学校と合同とかも楽しそう。
- 1 番（大場あい子君） そこで私たちが提案するのは、武蔵野市立中学校合同文化祭です。
- 2 番（金森結彩君） これは総合体育館などのレジャー施設を貸し切り、ブースごとに各学校・学年が出し物をするというイベントです。
- 1 番（大場あい子君） 地域の方にも参加してもらうことによって、より地域と連携した学校生活を送ることができると思います。
- 2 番（金森結彩君） 様々な人と交流することにより、生徒の視野を広げ、今後に生きる大切なことを学ぶこともできるでしょう。
- 1 番（大場あい子君） 学校生活へのモチベーションを高めることにもつながります。
- 2 番（金森結彩君） この提案は、すぐに実現することが難しいものです。
- 1 番（大場あい子君） ですが、実現したら、生徒にとっても、地域の方にとっても、よい影響を与えることができるものになるでしょう。
- 2 番（金森結彩君） 実現に向けて善処していただけるとありがたいです。
これで、もっと武蔵野市が活気あふれるまちになるね。
- 1 番（大場あい子君） ね。
そういえば、今日登校してくるとき、めっちゃ危なかったんだよね。
- 2 番（金森結彩君） 何があったの。
- 1 番（大場あい子君） 通学路に信号が分かりにくいところがあるのだけど、そこで自転車とぶつかりそうになっている人がいたんだ。
- 2 番（金森結彩君） 本当に。それは改善が必要だね。
- 1 番（大場あい子君） 今話題になった自転車と歩行者の事故未遂は、去年実際に私の目の前で起きた出来事です。
- 2 番（金森結彩君） 起きた場所は、女子大通りと東十一小路の交差点です。
- 1 番（大場あい子君） この交差点には、自動車用の信号は完備されているのですが、歩行者用は一方方向にしかありません。
- 2 番（金森結彩君） また、この交差点がある通りは、多くの三中生も通学路として利用している、交通量の多い道です。
- 1 番（大場あい子君） 歩行者用の信号がないことにより、横断歩道を渡るタイミングが分からず、先ほどのような危険な場面が見受けられることが多々あります。
- 2 番（金森結彩君） 道路交通法の第4条の3項にも、公安委員会は、交通の頻繁な交差点その他交通の危険を防止するために必要と認められる場所には、信号機を設置するように努めなければならないと定められています。
- 1 番（大場あい子君） まさに先ほどの三中付近の交差点は、前述の条件に当てはまっているの

ではないでしょうか。信号機の設置が必要なのではないのでしょうか。

○2 番（金森結彩君） さらに、実際に信号機のない交差点での事故における死亡率が4.0%に対して、信号機のある交差点での事故における死亡率は2.7%と、1.5倍にもなるというデータもあります。

○1 番（大場あい子君） そこで私たちは、市内の交差点への信号機の設置を提案します。

○2 番（金森結彩君） これによって、交差点での事故発生のリスクを下げられるのではないのでしょうか。

○1 番（大場あい子君） 交差点で安全な横断ができるよう、対策を望みます。

○2 番（金森結彩君） 信号機が設置されたらいいね。

○1 番（大場あい子君） そうだね。

○2 番（金森結彩君） あ、思い出したのだけど、私たち中学生って、自転車に乗るときに車道を走らなければいけないでしょう。

○1 番（大場あい子君） そうだね。小学生のときは歩道でもよかったのにね。

○2 番（金森結彩君） 私、それ、最初すごく怖くて、車道を走れなかったんだよ。

○1 番（大場あい子君） 私も。後ろから車が迫ってくる感じが怖いよね。

○2 番（金森結彩君） だから小学校とかで教えたりしてくれないかな。

○1 番（大場あい子君） 確かに。教えてくれたら安心できるかも。

○2 番（金森結彩君） 事故とかも起こりにくくなりそうだね。

○1 番（大場あい子君） 警視庁のホームページによると、こちらの標識があるところや、小学生、高齢者、体に不自由がある人のみ、例外として、自転車の歩道での走行が認められているそうです。

○2 番（金森結彩君） しかし、13歳の誕生日を迎えた瞬間、私たちは原則、車道を走らなければなりません。

○1 番（大場あい子君） もし歩道を走行してしまった場合は、2万円以下の罰金または科料が科せられることになります。

○2 番（金森結彩君） これは道路交通法第63条の4の2にて定められています。

○1 番（大場あい子君） また、車道を自転車で走行するときは、道路の左側を通行しなければいけません。

○2 番（金森結彩君） これも法律で定められています。違反した場合は、3か月以下の懲役または5万円以下の罰金が科せられることになります。

○1 番（大場あい子君） これらは私たち中学生の中では、あまり浸透していません。

○2 番（金森結彩君） さらに、まちなかの雰囲気として、歩道を走行してもよいというようなものがあるのも事実です。

○1 番（大場あい子君） ですが、だからといってルールを守らなくていいという理由にはなりません。

○2 番（金森結彩君） そこで私たちは、小学校や中学校での交通系講習会の中に、先ほどのような話題を取り入れることを提案します。

○1 番（大場あい子君） また、実際の車道での自転車走行を想定した実践的な体験を講習会に取

り入れることも併せて提案します。

○2 番（金森結彩君） 講習会で児童生徒に説明、指導することによって、自転車の車道通行に対する心理的ハードルを下げられるとともに、未来の武蔵野で自転車の左側通行の意識を高めていくことにもなると考えられます。

○1 番（大場あい子君） 私たちは、先ほど説明した5個の提案をします。

○2 番（金森結彩君） 学校交流を活性化することによって、市全体として明るくすることができま。また、中学生のうちにコミュニケーション能力を育てることによって、将来にもつながっていくでしょう。

○1 番（大場あい子君） 交通安全を促進することによって、武蔵野市をより安全で住みやすいまちにすることができるでしょう。

○2 番（金森結彩君） これらの提案は、市をよりよくするために非常に重要なものです。

○1 番（大場あい子君） 実現することが難しい夢物語と思われるかもしれませんが、私たちは夢物語で終わらせたくありません。

○2 番（金森結彩君） 現状の改善や新たな取組に向けて、一歩踏み出してはくれませんか。武蔵野市を、より幸せに暮らせるまちへと変化させたいとは思いませんか。

○1 番（大場あい子君） 市民の私たちだけでは実現が難しいことです。ですので、市議会議員、市長さんの力が必要不可欠です。御協力よろしくお願いします。

○2 番（金森結彩君） 以上です。（拍手）

○6 番（宮代一利君） ただいまの大場あい子議員、金森結彩議員の一般質問にお答えをさせていただきたいと思います。

まず、トップバッター、お疲れさまでございました。一番最初にデータを出したからこそそのトップバッターで、本当すばらしい取組だというふうに感動しております。



まず冒頭に、ちょっとだけ説明をさせていただきたいのですが、今日いただいた5つの要望というか御提案ですが、主に行政、いわゆる市役所のほうで決め、実行する内容であったり、あるいは学校、教育委員会のほうで判断をするといった内容のもので、私たち議員の立場では、それをここで決定をして、あるいはやりますとかというふうに言える立場ではないので、今日は議員としてできることがどんなことなのかということを中心に答弁させていただきたいと思います。

それでは、5つの質問について順次、まず一番最初の学校の交流についてですけれども、今回この学校のお話をいただきましたので、市役所のほうの担当の部署に訪ねて行って、ヒアリングをしています。そのヒアリングの結果、どんなことが今起こっているのかということを、まずお伝えしたいと思います。

まず学校としては、今、皆さん生徒の命と安全を最優先に考えて運営を行っているという説明がありました。これまでその原則を貫き、様々なルールをつくってきています。皆さんの命と安全を守るため

に様々なルールが積み上がってきて、その結果、例えば校内に関係者以外の人を入れないという形になっているのが現状だと思います。他校との交流を進めるためには、この流れを変える必要があります。今後、皆さんの意見を先生に伝え、十分に議論をして合意形成を進める必要があると考えております。どんなやり方ならば交流を実現することができるのか、ぜひこれから考えていただきたいと思います。

ちょうど今日、私の手元に緑色の「一緒に考えてみませんか」という紙が配付されています。間もなく皆さんの手元にも届きます。二次元バーコードが裏についていて、小学校、中学生の児童生徒の皆さんからの意見を募集しますというふうに書かれていて、その中には、先生たち、それから役所の方たちもしっかりと耳を傾けて、その御意見を伺うというふうに明記されていますので、もちろん今日のこの議会のこともそうですが、これから先、様々気づいたことについては、こういったところへの意見をぜひ出していただきたいと思います。私たち議員も、そういった皆さんが出してきていただいている意見に注目をして、しっかりとそれが実現されていくように、議員の立場でいろいろな意見を述べていきたいというふうに考えています。

それから、2つ目の御指摘である交流会ですが、こちらは学校に出入りするのではなくて、例えば総合体育館であったりとか陸上競技場ということが出てきていましたので、そちらであれば、かなり可能性は高い、学校にいきなり入ってってしまうよりは、新しい行事をつくるということであれば、かなり可能性はあるのではないかなというふうな印象を私は持ちました。

ただし、どのように準備に取り組んでいくのか。例えば運動会を学校でやる場合に、学校のカリキュラムの中で、体育の授業の中で準備をしていると思うのです。そうすると、運動会という行事をやるために授業の時間を使っていくということになる。年間の皆さんのカリキュラムというのは、先生たち、あるいは教育委員会が推し進めているもので、そこに新しい行事を持ってきたときに、どの時間を使って、今までやっていなかったどこかの時間にそれをはめ込んでいって準備をするという必要が出てくると思います。では、どれぐらいの規模の、どんな行事をやっていこうかということについて具体的に考えながら、カリキュラムとの整合性を取る必要があると思うので、これもまたやはり、学校の先生あるいは教育委員会との間で、これからどんどんと検討、議論を進めていく必要があると思うので、声を上げ続けてください。学校の先生たちにも皆様の意見をぜひ伝えていただきたいと思いますというふうに考えております。私たちは、そういったいろいろな声が聞こえてきたところを議会においても取り上げていって、それが実現できるように力を尽くしたいというふうに考えています。

それから、3つ目からは交通関係です。信号機の取付けについては、発表の中でも御指摘があったとおり、公安委員会が担当しているもので、公安委員会は武蔵野市の市役所とは全く別の組織ですので、市役所で信号機を付けることはできないルールになっています。

しかしながら今回、交通関係の部署にも問合せをしています。この話を相談したところ、武蔵野市の市役所の担当の窓口の方は公安委員会の窓口とのパイプを持っているというふうにお話を伺っていますので、ここで、公安委員会だよ、では行ってきてねではなくて、私たちも一緒に現場を見て、今実際どんな危険が起こっているのかということをしちゃんと調べて、その上でどういうふうに公安委員会のほうに話を通していけばいいのかということをし、私は1人の議員として実際に取り組んでいこうと思ってい

ますので、今後実際に現場を案内していただいて、どんなことが起こっているかということを教えていただきたいと思います。それをもって、こういった場で様々な願いを進めていきたいというふうに考えております。

それから、4つ目は講習会の内容についてですが、これはまさにそうなのだなというふうに感じました。13歳になったら突然ルールが変わる、それを恐らく皆さんは13歳になった後に、変わっているから、きちんと守ってねというふうな講習を受けていると思うのですが、それでは遅いですよね。確かに小学校のときから、13歳を迎える前に講習会をきちんとやっておいて、それも丁寧に時間をかけて回数を踏んで、もうすぐ13歳が来るぞといったときに、自分たちはルールが変わるのだということを自覚した上で、その13歳という年を飛び越えていただくということは本当に必要だと、これはもう今日ここで発表いただいたからこそ実感することができた内容です。これはもう、多分講習会は市役所のほうで指導していただけるものもあると思うので、そういった中で、こういった話題を入れていこう、早め早めこういったことに取り組んでいこうというふうにこちらから声を上げて、ぜひ動かしていきたいというふうに思っています。

5つ目の最後の実践的講習会ですけれども、これも私たち常日頃から気になっていて、やはりそういう机上の勉強だけではなくて、実際に動いてみて、武蔵野市は交通公園みたいなものがないのです。そういう意味では、今後うまく工夫をして、実際に自転車を走らせられるような空間をつくって、例えば学校のグラウンドでもいいかもしれないのですけれども、信号機とかの模擬的なものを持ち込んで、それで実際に運転してみるといった、そういった講習会の形式も私はありなのではないかなというふうに思っています。今日提案いただいたことによってそのことが分かりましたので、こういったことも提案をしていきたいというふうに考えております。

5つの提案、すばらしいものばかりでした。最後のところで夢物語という言葉が出ましたけれども、これは決して夢物語だとは、私はもう直感して、全くそういうふうな印象を持って受け止めませんでしたので、現実の問題として、皆さんの将来のために、今私たちができることに取り組んでいきたいと思います。

以上です。

○議長（落合勝利君） 第三中学校は、ただいまの一般質問に対する感想をお願いします。

○1 番（大場あい子君） よろしくお願ひいたします。

○2 番（金森結彩君） ありがとうございます。



○議長（落合勝利君） 次に、左利きの生活、登下校の苦勞、学校交流について、第五中学校、12番林 杏樹議員、13番本橋春虎議員、14番布施陽都議員。

（12番 林 杏樹君、13番 本橋春虎君、14番 布施陽都君 登壇）（拍手）

○12番(林 杏樹君) ただいまより、武蔵野市立第五中学校の発表を始めさせていただきます。

私たちの発表では、3つの視点、左利きの生活、登下校の苦労、学校交流という点で考えた改善点を発表していきたいと思います。どれもたくさんの時間をかけて考えたので、ぜひとも目を離すことなく、最後までお聞きください。

○13番(本橋春虎君) 僕は、左利きに優しいまちづくりについて発表します。

突然ですが、皆さん、左利きの人の生活について考えたことはあるでしょうか。実は右利きの人が思っているよりも大変なものになっていて、例えば蛇口が右利き用に作られているので、左利きの方だとひねりづらかったり、ノートに文字を書くと手が汚れてしまったり、食事のときに隣の人に手が当たってしまったり、いろいろと日常生活でも、少しですが、ストレスがたまるようなことが多いのです。

そこで、左利きの人でもストレスなく暮らせるようなまちづくりについて考えてみました。今回は、学校で使用する引き戸や蛇口、そしてボールペンとはさみについて考えました。

まず初めは、引き戸と蛇口です。実はこの2つの器具は、右利き用に設計されているため、左利きの人からすると、少しだけですが、開けづらかったり、ひねりづらかったりします。そのため、引き戸は昇降口のみですが、回転扉か自動ドアに、蛇口はひねらなくてよいストレートタイプというものに変更すると、利き手に関係なく使用できるので、誰でもストレスなく使用できると思います。ちなみに、僕たちが通っている第五中学校では、校舎の建て替えのため、現在仮設校舎で生活しているのですが、その影響で、蛇口がひねるほうからストレートタイプに変わっていたので、左利きの人に聞いてみたところ、使いやすくなったと言っていました。

次に、ボールペンとはさみです。はさみは、何となく左利きとか聞いたことあるけど、何でボールペンと思った人が多いと思います。そのとおりです。ボールペンに利き手は関係ないです。しかし、ノートに横書きで文章を書いていくので、左利きのほうが、書いてすぐのインクが常に手に当たってしまって、文字も手も汚れてしまうのです。右利きだと書いた文字の先に手があるので、そうはなりません。左利きだからこその悩みだと思います。

そこで、速乾性ボールペンを使用することをお勧めします。インクがすぐに乾くので、手にインクがついて汚れてしまうようなことは少なくなると思います。まち全体で製品の普及を推奨していくことが大切です。

右利き用のはさみは、右手で使ったときにうまく力が伝わるような構造で作られています。当然、左利きの人右利き用のはさみを使うと、力がうまく伝わらず、切れ味が悪くなってしまうのです。

左利き用の製品の中でも、はさみは有名だと思いますが、実は左利き用の製品は、私たちが知らないだけで、ほかにもたくさんあります。検索してみると、包丁や定規も製造されていて、驚きました。こうした製品が普及しやすいような環境を整えることが大切だと思います。このようなことから、左利きに優しいまちづくりを進めるためには、ささいな部分でも配慮していくことが大切だと思います。

これで僕の発表を終わります。

○12番(林 杏樹君) 変わりまして、次は、年々増える苦労、重過ぎるリュックと、どこでもドアが欲しい日々ということで、毎日持って登校しているリュックについて、まず紹介していきます。

皆さんは、小学生のランドセルやリュックの重さを御存じでしょうか。これが何と約4キログラム、

意外と軽いと思った方もいらっしゃるのではないのでしょうか。ですが、これは何と電子レンジと同じ重さで、それに対して私たち中学生は、テスト前に持ち帰る多くの教科書、水筒、さらに部活で使うシューズや楽器など、総重量は10キロを超える人が多い現状となっています。このままでは、背骨が曲がってしまったり、転んでしまうことによって事故が起こったり、さらには、この過去最大を塗り替え続ける歴史的猛暑の日々なので、最悪の状況が生まれてしまう可能性があります。なので、ここで希望していきたいのが、ムーバスを使ったスクールバスの導入です。

なぜそう考えたかといいますと、まず、スクールバスを使うことによるメリットの大きさです。スクールバスを使うと、不審者の接触や交通事故を防げたり、遠距離通学の生徒の負担の軽減、需要が増えるためドライバーの増加が期待できたり、熱中症予防などのメリットが想像できます。何といても、五中の前に停留所があるので、活用できればいいなと思っています。ほ



かにも、個人のロッカーを大きくしたり、教科書のページ数の増加をやめるなどが考えられます。

ちなみに余談ですが、教科書会社の社長の話によりますと、教科書の厚さが増している理由について、カラー印刷の写真の裏側が透けずに、1年間使っても破けないように頑丈に作られているという面がありましたので、私的には、せっかくパソコンが全学校に配られているので、そういう写真を調べるという方法もあるのではないかと思います。

私の発表はここで終わりなのですが、スクールバスには費用や経路など、多くのデメリットがあると思います。スクールバスをムーバスでやることによって、ムーバスが身近になって、コミュニティバスの先駆けとも言われた29年もの歴史あるムーバスが廃れず、繁栄していただければいいなと思います。でも、とにかくこの重過ぎるリュックの現状を多くの人が知って、軽量化されたリュックが一般の重さになることを私たちは強く強く望んでいます。

○14番（布施陽都君） 変わりました、次、学校交流についてお話しさせていただきます。流れとしては、御覧のとおり、発表の内容について、そしてその企画案、2つ出します。あとは、その企画についてのまとめにさせていただきます。

まず、皆さん、他学校の生徒との交流はありますか。例えば習い事だったり、昔、小学校で一緒だった人や、幼稚園、保育園で一緒だった人、そういう人との交流はあると思うのですが、中学生になってから、そういう他学校との交流は、やはり減ったと思いませんか。ということで、私が言いたいのは、ずばり他学校との交流の場が欲しいということです。僕が個人的に思ったこととして、特に学校を挙げての交流が少なく感じました。そこで、市内学校全体を挙げてのイベントをつくりたいなと思っています。

具体例として、まず企画案1、学校ごとで交流イベントを企画します。これは、なるべくなのですが、

生徒側が企画してやっていきたいと思っています。その後、学校ごとのチームだったり、まとまりをつくってイベントを実施して、学校同士の交流を図りたいと思っています。イメージとしては、やはり文化祭のようなものだと思います。例えばですけど、市立の何か建物や施設で実行することで、そこに各学校ごとにブースを持って行って企画を実行するというので、他学年、他学校との交流ができるとともに、また、その企画した人たちの人と人とのコミュニケーションの取り方だったり、対応力というものも学べると思います。さらに、他学校との関わりによって交流も深まっていくのではないかなと思っています。

2つ目が、異なる学校で授業を行う。これはどういうことかといいますと、イメージとしては、皆さん交換留学を知っていますか。学校ごとに生徒を入替えと言ったら何ですけど、人と人同士を交換するとか、そういうものがあるのですけども、各学校でそれぞれ別々の教科をやる。どういうことかといいますと、具体的に言うと、例えば、うちの第五中学校から第一中学校の人へ、生徒を交換、一部の人を交換して、そこで授業を受けることで、学校との交流も持てますし、その学校の生徒の人たちとも交流が持てるのではないかなと考えています。例えば国語だったり数学をその学校で学ぶことで、学校の様子というものも知れるし、その学校の生徒だったり生活というものも学べるのではないかなと思っています。

これらの企画を行うに当たって、個人的にメリットとデメリットを挙げてみたのですが、メリットとしては御覧のとおりで、まず、様々な交流を図る、または学校同士の特色を持った交流ができる、さらに生徒同士での関わりも機会が多くなるのではないかなと思っています。ただし、デメリットとして、やはり準備が大変である。僕が挙げた案の2つはかなり大がかりなものだと自分でも分かっているの、その準備がやはり大変だし、あとは人数とかの管理が難しくなってしまう。あとは、会場だったりの確保という問題もどんどん挙がっていくと思います。

これらをまとめると、まず学校同士の交流には、やはり学校同士の協力や連携、そして市だったりの連携。そして、イベント企画段階などでの協力による準備の入念さ、学校同士での生徒人数などの管理なども問題が多々ありますが、市内の生徒たちの距離が縮まるいい機会であるとともに、例えば将来社会に出て働いたときに、会社の中での交流の方法だったりコミュニケーションだったり、文化祭のときにも挙げたプレゼンテーション能力みたいなもの、やはりそこで身につけることができるのではないかなと考えています。

僕たち第五中学校は、このような案を立案してまいりました。この案は、もちろん実現するのはとても難しいことだと分かっています。でも、やはり武蔵野市をよくするために、3人とも一生懸命考えた案なので、ぜひともこれは検討して、できれば実施していただきたい、武蔵野市をよりよくしていただきたいということを思っています。

これで第五中学校の発表を終わります。ありがとうございました。（拍手）

○18番（与座 武君） それでは、武蔵野市立第五中学校、林 杏樹議員、本橋春虎議員、そして布施陽都議員の質問に、武蔵野市立第五中学校卒業第2433番、与座 武がお答えさせていただきます。答えの順序が順不同になりますけども、お許してください。

まず最初に、他学校との交流の場が欲しい、市内学校の新しい人たちとの出会いの場が欲しいという

御提案でございました。交流の場をつくっていくということについては、私は大賛成です。理由は大きく2つあります。人の成長というのは、多くの多種多様な人との交わりの中、交流の中で築き上げられていくものだと思っております。中学校時代には大勢の同級生、それから前後の先輩後輩との交流が大切だと思うし、最後まとめの中でも触れられていましたが、大人になっても多くの人たちと交流する、接していくということが大切なのだろうと思います。そういう意味で、まず賛成の理由が1つ。

2つ目は、もう皆さんもよく聞いていると思いますけれども、少子化、子どもの人数が減ってきている。それから、公立の小学校から公立の中学校に行く進学率が、例えば五中だと、五小、関前南小から行く進学率が6割から7割ぐらいになってしまっている。全体のパイが少なくなっているのに、中学校に行く人数がまた少なくなっている、そういう状況においては、積極的に中学生同士が交流する場をつくるというのはいいのだろうということが2つ目の理由であります。



ちなみに、今、第五中学校でいくと生徒数が233人ですか。47年前、私が五中にいた頃は1クラス40人で4クラス、それが3学年ですから、500名弱いました。私たちのもうちょっと後の団塊の世代ジュニアのときは、もっと大勢の五中生があそここのところにいたのです。そういう中で私たちは育っていますので、皆さんの御提案には賛成するということであります。

そこで、具体的な御提案がありました。各学校で実施するイベント、例えば文化祭を、他の学校の生徒を紹介するとか、特定日に、例えば一中では国語、二中では数学、三中では英語などの授業を行い、各自が学びたい教科の学校に行くという御提案がありました。どちらも斬新で、非常に面白い提案だと思います。先ほど隣の宮代さんからも言われましたとおり、ここで無責任に実現の可能性についてああだこうだと言える立場ではないのですが、布施議員からあった具体的な提案である、他学校との交流の場が欲しい、市内学校と新しい人たちの出会いの場が欲しいという思いには大変共感できるところであります。その実現する第一歩として、既存の連合音楽会とか市内中学校体育祭などの場を活用するというのも考えていいのかもしれないですね。それから、さっき三中の生徒さんからありましたように、合同文化祭みたいな形、例えば横のエコr eゾートで、（仮称）オール武蔵野ジュニアハイスクールフェスティバルなんというのを開くということも考えられる。ただ、あまり無責任に期待感をあおってはいけませんので、皆さんで頑張ってもらえればいいかなと思っています。

今、プレゼンの最後に、企画を行うに当たってのデメリットというのが書いてありました。私は、あれをできない理由、やらない理由にはしてほしくないのです。皆さんでその思いを、夢の実現ということが言われましたけど、それを実現するために、みんなで知恵を出し合って、協力し合って現実に行動していただければなど、こんなふうに思っているところであります。

2人目、林 杏樹議員からいただいた質問です。重過ぎるリュックと、どこでもドアが欲しい日々ということです。この質問は、2点に整理できると思います。1点目は、通学に際してのリュックの中身の軽量化、2つ目は、重たいリュックを背負っての通学負担の軽減、これを何とかせよという御

質問だというふうに理解しました。

1点目のリュックの中身の軽減化については、実はこの市議会の中でも過去に多くの議員さんが市長に質問して、その問題意識は持っております。それから、教育委員会、学校の先生方も同様だというふうに理解しております。ただ、私が分からなかったのは、私たちの時代と違って、何で教科書が重くなってしまったのかなと疑問だったのですが、この間の皆さんとの打合せとか今日の質問を聞いていて、よく分かりました。教科書のサイズが大きくなったこと、資料集などが豊富になると同時に、写真入りでカラフルになった影響で紙質が良くなり、その分、紙が重くなった等々、皆さんの説明を聞いて、よく理解したところであります。

そこで、御提案のあった教科書のページ数の増加をやめるという提案です。私は文部科学大臣でありませんので、その辺について、ああせい、こうせいとは言えないのですが、少なくとも教科書の厚さを少なくすることによって、今ある教科書の中身、内容が削減されてはいけないのだろうと考えています。それから、個人ロッカーを大きくするという御提案もありました。五中だけに限って言いますと、今、五中は仮設校舎です。あそこのロッカーの容量よりも、新しくできる校舎に設置されるロッカーは、容量、大きさは約2.2倍になります。高さが今の3倍の81センチで、どうも聞くところによると、中に5段階調整の棚ができるということです。学校への置き教科書も含めて、ぜひ活用してくださいということです。でも根本的なところの解決としては、やはり紙の教科書は重いので、ペーパーレス教科書、タブレットの活用をどう進めていくかというのが今後の大きな課題になるのだというふうに認識しています。

今、学校の先生方が、紙の教科書のよさ、タブレット教科書のよさ、それからタブレットをもっとどういうふうに活用すれば皆さんにいい授業ができるのか、学習効果を上げることができるのか、先生方あそこにいらっしゃいますけど、試行錯誤しているというのが今の過渡期の段階だと思います。将来的には紙教科書が減り、リュックの中身は軽量化されていくものだというふうに思っております。

とはいっても、今の私たちどうしてくれるのよというのが2点目の質問、重たいリュックを背負っての通学負担軽減についての御提案だと思います。五中の学区域内、西久保、関前を循環する三鷹駅北西循環バス4号路線ムーバスをスクールバス代わりにとの御提案がありました。なかなか面白いアイデアだというふうにお聞きしておりました。始発が三鷹駅北口、朝8時半なので、登校時間での活用は無理ですが、下校時間は20時台まで20分間隔で運行しているので、活用しようと思えば活用できますよね。先ほども言いましたように、あまり期待感をあおる言動は控えますけども、重たいリュックを背負っての遠距離通学生徒の負担軽減、熱中症対策を含めて、下校時だけでも生徒手帳を見せたらムーバスに乗れるなんということができたら画期的だなと——あそこで教育委員会の指導課長が嫌な顔して聞いていますが——私は思っております。

なお、先ほどムーバスの話が出てきましたので、全国初のコミュニティバス、ムーバスの導入のきっかけになったのは、今から30年以上前なのですが、吉祥寺南町にお住まいのお年寄りから、吉祥寺で買物をして、重たい荷物を持って路線バスに乗って最寄りの停留所で降りても、そこから自宅までいっぱい歩かなくてはいけない、これ、どうにかありませんかと当時の土屋市長に相談したのがきっかけで、今のムーバスの運行が始まりました。先ほど林議員から御提案のあった前提と非常によく似た状況だと

いうふうに思っております。また皆さんでアイデアを出していただいて、これからいろいろと働きかけていただければと思います。

最後に、本橋春虎議員の御質問にお答えをいたします。私の彼は左利きと書いてありましたね、あの当時はピンクレディーの「サウスボー」なんというものはやっていて、左利きブームだったのですかね。それはそれとして、左利きに優しいまちづくりということで、こういう御発言をいただきました。ふだんの生活の中で左利きの人は不便と感じる人が多い。全ての人がストレスなく暮らせるようなまちにするためには子細な配慮が大切ではないですか、これは非常に大切で、鋭い質問だと私は認識をしております。

早々、武蔵野市の対応を調べさせていただきました。市民社会福祉協議会の委託事業で、心のバリアフリー啓発事業というのを行っています。そこで問い合わせてみましたら、そこでは左利きの不便さの事例の紹介はするが、左利きに特化した事業はないと言われました。ちなみに、この心のバリアフリーとは、様々な年齢や状態の方々が、お互いを理解し、助け合い、気持ちよく暮らし続けることができるまちをつくるための心構えのことだそうです。まさに今回質問をいただいたそのものずばりのことを今も取り組んでいるというふうに、まず御認識ください。

さて、その上で、具体的な事例を御指摘いただきました。文房具類、はさみやボールペンの使用の不便さ、昇降口のドア、引き戸、そして水道の蛇口の逆手等々、実はうちの家内、妻が左利きだったもので、聞いてみたら、電車の自動改札のタッチパネル、S u i c a のもの、あれも右側にあって不便だよねとか、自動販売機のコイン投入口も正面に向かって右側にあるので、左利きはちょっとやりづらいというような話。また、習字での、右手でいくと払いが、左だとなかなかできないので、習字でもちょっと苦労したのだという話を聞きました。その上で、現況だけお話しします。

五小、五中の校舎改築に合わせて、水道の蛇口は基本、コロナの感染症対策もあったので、ひねるタイプからストレートタイプ、今後全部の学校でその方向に進んでいるということです。それから、小学校の図工や中学校の技術家庭の授業で使用するはさみは、左利き用をそろえているそうでありますので、もし何かあったら先生に聞いてください。壇上で指摘があったように、速乾性ボールペンとか、文房具類とか生活用品など、左利き専用の商品が多くあるということは聞き及んでいるところです。最後、新校舎の昇降口、さすがに東京ドームのように回転ドアにできませんので、そのところは御容赦願いたいと思っております。

以上、十分な答弁になっていませんが、本橋議員からいただいた鋭い御指摘のあった左利きの人も含め、全ての人がストレスなく暮らせるようなまちにするため、心のバリアフリーに最大限配慮した優しいまちづくりをこれからも心がけていくとともに、その視点を持って我々議会でもきちんとした議論を進めていくということをお約束させていただいて、私からの答弁とさせていただきます。

以上でございます。

○議長（落合勝利君） 第五中学校は、ただいまの一般質問に対する感想をお願いします。

○12番（林 杏樹君） 今回の子ども議会をきっかけに、自分の住んでいるまちについてしっかりと知ることができて、本当にいい経験だったなと思います。今後、私が武蔵野市にそのままいるのか、別のところに行くのかはまだ分かりませんが、違うところに行ったとしても、その場所について深く知ることができればいいなと思います。ありがとうございました。



○13番（本橋春虎君） 今回の子ども議会で、議員さん側の考えも知ることができて、とても勉強になりました。ありがとうございました。

○14番（布施陽都君）
ありがとうございました。

僕も調べる上で、やはり学校の中で、いかに僕たちの生活をよりよくしていくかというのを考えながら、企画だったり、プレゼンできたと思いますし、答弁の中で自分の考えの至らなかった点なども見えてきたので、そこからまた自分の考えというものを改めて持っていきたいなと思いました。ありがとうございました。



○議長（落合勝利君） 次に、学習者用コンピューターとALTの先生について、第四中学校、5番金坂芽依議員、6番静 優月議員。

（5 番 金坂芽依君、6 番 静 優月君 登壇）（拍手）

○5 番（金坂芽依君） 皆さん、こんにちは。第四中学校の金坂芽依。

○6 番（静 優月君） 静 優月です。

○5 番（金坂芽依君） 本日は、学習者用コンピューターとALTの先生について提案させていただきます。

まずは、学習者用コンピューターに関する提案です。

武蔵野市学習者用コンピュータ活用指針によると、導入の目的は3つあります。1つ目が、知識及び技能を高めること、2つ目が、思考力・判断力・表現力を養うこと、3つ目が、学びに向かう力・人間性を育てることと記載されていました。また、コンピューターの活用場面として、情報の収集、整理、分析、そして意見等の表現・発信となっています。しかし現状では、幾つかの困り事が生じています。

1つ目の困り事は、フィルタリングによって、必要な情報が見られないことです。武蔵野市学習者用コンピュータ通信第38号によると、フィルタリング内容は、ここに記載されている内容になります。授業での困り事は、国語の授業で短歌を調べる際に、アクセスできないサイトがあることや、校外学習や

セカンドスクールの事前学習で調べる際に見られない、情報が限られること、ウィキペディアが閲覧できないことが挙げられます。調べ事をする際に規制がかかってしまうので、情報が十分に見つからず、最終的に自宅のパソコンやスマートフォンを使わざるを得ない状況です。

この問題に対して、提案が2つあります。1つ目が、武蔵野市全体で生徒が必要な情報へのアクセスをリクエストするシステムを導入することです。2つ目が、教師や職員が、必要に応じて生徒に必要なサイトへのアクセス権を一時的に許可し、調べ事が終わったら元のフィルターに戻すという個別調整ができる環境をつくることです。

次に、2つ目の困り事として、学校や先生によってコンピューターの使用頻度に差があることです。小学生のときには、ほとんどの授業でパソコンを使い、授業内でもタイピングをする時間がありました。宿題の提出やグループでの情報共有もパソコンで行い、授業内で作業が終わらなかった場合には、家でも続けて作業ができました。スライドを使った発表や提出の機会も多くありました。しかし現在では、1日に1度使うかの使用頻度で、提出物はほとんど紙で行います。また、パソコンのスキルを磨く授業が少ないです。将来はコンピューターを扱う仕事が多くなってきますが、現在では中学校でのパソコンの使用頻度が低く、スキルを磨く機会がほとんどありません。このままでは社会に出たときに困るのではないかと不安に思います。小学校で培ってきたスキルが、中学校での使用頻度の低下によって衰えていると感じています。

この問題に対しても、2つの提案があります。1つ目が、高校の授業ではプログラミングが必須授業なので、数学や理科、社会などの科目で、ブロックを組み合わせるプログラミングコードを書くスクラッチを取り入れた基礎的なプログラミング教育を行うことです。2つ目が、オンライン授業ができるメリットを生かし、異文化に興味を持てるような、地方や海外などのほかの中学校との交流授業を行うことです。



以上が学習者用コンピューターに関する提案です。

○6 番（静 優月君） 次に、私が提案するのは、ALTの制度についてです。

今現在、武蔵野市には七、八人ほどのALTの方がついてくださっています。ALTとは、アシスタントランゲージティーチャーのことを指し、外国語の授業の際に、教科担当の先生とはまた別に、母国での経験を生かし、私たちに英語を教えてくださいと外国語指導助手のことです。ALTの制度が大きく導入された2013年から今まで、ALTの先生方は、こちらのグラフのように、年々増加しています。その理由としては、ALTの先生方からは、出身国の文化や、その地特有の行事、日本語との比較など、参考書や教科書、教科担当の先生からも聞けないような情報まで教えてくださいと、日常的な英会話だったりを深く学べることで、また、ALTを通して国境を越える将来像を高められることなどが挙げら

れます。

ですが、今、武蔵野市にはA L Tの交代時期の制度は特になく、同じA L Tの方が長期間同じ学校に在任してくださっている状況です。武蔵野市が2018年に発表しているA L T導入狙いは、外国語を通じて言葉や文化について体験的に理解を深め、児童が積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しみながらコミュニケーション能力の素地を養うことの2つです。この1つ目の外国語を通じて言葉や文化について体験的に理解を深め、児童が積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成の「文化について体験的に理解を含め深める」という箇所を、より深く、より効果的にさせるため、私たちはA L Tの先生を武蔵野市の中で、一、二年の周期で交代制にすることを提案します。

A L Tの先生を交代制にすることによるメリットは、先ほど述べたとおり、A L T導入狙いに沿った文化についての体験的な理解をより効果的にできること、新しい観点から英語が学べること、また、様々な国からのA L Tの方が来てくださることにより、他国への関心がより大きくなることです。デメリットとして挙げられるのは、英語の教科の先生方が、新しいA L Tの先生とのコミュニケーションが取りづらいということです。これにより、授業の進め方に関する質問や相談などが、少ししにくくなってしまいます。また、A L Tの先生方も1年から2年周期だと、その学校に場慣れするのも難しいことだと考えられます。ですが、これを差し引いても、A L Tの先生を交代制にすることには、よりよい勉強ができること、コミュニケーション能力を高めることにおいて、よい影響を大きく与えることができると考えています。

これらの理由から、A L Tの先生を1から2年の周期で交代制にすることについての提案をさせていただきました。私は、武蔵野市に来て1年ほどたちましたが、エコ r eゾートやコミュニティセンターなどの友達と集まれるような場所があること、緑がとて多くあるところなどは、この市特有のよさだと思います。ですが、この豊かで温かく過ごしやすい武蔵野市を、私たちの提案でさらによくしていきたいのです。そのため、私たち武蔵野四中からの提案事項である、必要なサイトのリクエストを送れるようにすること、授業内でオンライン授業やスクラッチなどのプログラミングを行うこと、A L Tの先生を1から2年の周期で交代制にすることの3つについて、御検討よろしく申し上げます。

御清聴ありがとうございました。（拍手）

○19番（橋本しげき君） ただいまの金坂芽依議員と静 優月議員の御質問にお答えをいたします。

大きく2点の御質問ですが、いただきました御提案、いずれも大変すばらしいと思います。これらの御提案にお答えいたしたいと思います。

大きな1点目は、学習者用コンピューターについてです。この中の1つ目が、調べ事をする際にフィルタリングの関係で十分に調べられないということで、2つの御提案をいただいています。

1つは、武蔵野市全体で生徒が必要な情報へのアクセスをリクエストするシステムを導入するということです。生徒の皆さんがどういう情報にアクセスをしたいのか、ぜひ意見を出していただいて、より調べ学習が充実できるようにするということは非常に大事だと思いますので、これは実現できるとよいなというふうに思っております。システムということですが、どういうやり方がいいのかという、もし具体的なものがあれば、それも出していただけるとさらにいいかなというふうに思っております。

それからもう一つは、教師や職員が、必要に応じて生徒に必要なサイトへのアクセス権を一時的に許可し、調べ事が終わったら元のフィルターに戻すという個別調整ができる環境をつくることということです。これ、私、確認したら、実際今できるということなのです。そういうことは可能だということなのですが、ただセキュリティが厳しいために、必要なサイトへのアクセス権を一時的に許可するための申請をしても、その許可が出て実際使えるまでに数日かかってしまうということで、すぐにはできないと。すぐに一時的なアクセス権の許可は出ないということなので、これは改善できるのかどうか、技術的な問題もあるかもしれませんので、改善の可能性を探るということはあるかなというふうに思っております。

それから、学習者用コンピューターの2つ目は、学校や先生によってコンピューターの使用頻度に差があるということです。実際に生徒の皆さんからすると、このことによっていろいろな心配とか不安とか、そういうことを感じるということもあるかなと思いますので、それで2つの御提案をいただきました。



1つは、数学や理科、社会などの科目で、スクラッチを取り入れた基礎的なプログラミング教育を行うということです。パソコンの活用、プログラミングのスキル、こうしたものが今後必要な状況もあるかというふうに思われます。パソコンの活用がよりよい場合もあるでしょうし、そうではない場合もあるかと思うので、授業の中でパソコンなどを活用することで、より効果的に学習が進むという場面については、これは知恵と工夫をもってうまく活用するということがいいかなと思います。スクラッチの活用は一定の予算が必要だということらしいので、これはどのようなやり方がいいかというのは、今後皆さんの希望も踏まえて考えていくということ

なのかなというふうに思っています。

それからもう一つは、オンライン授業ができるメリットを生かし、異文化に興味を持てるような地方や海外などの他の中学校との交流事業を行うことということです。こうした交流、非常によいと思います。市内の中学校との交流だけではなくて、日本各地の、それから世界のいろいろな方との交流というのは、視野を広げて新たな気づきを生み、認識がどんどん発展していくなというふうに思います。

学校交流は、ほかの中学校の方からも質問がありまして、これは大変皆さん求めていることなのではないかなと思いました。オンラインでの交流というのは、比較的やりやすいのではないかなと思います。どこかに集まってというと、またいろいろなことが必要になるかもしれないですけど、オンラインだともっとやりやすいかなという気もしますので、そういうことがどんどん気軽にできたらいいかなというふうに思っています。

それから、大きな2点目はALTの先生についてです。御提案は、ALTの先生方のローテーションシステムの導入ということです。そうすれば、いろいろなALTの先生と交流ができて、他国の文化を学ぶことができるということだと思います。

御提案について、メリットとデメリットと両方お話をされていまして、御自分の提案に対して客観的に見ているというのは大変いいかなというふうに思いました。ALTの先生は、市が直接雇用しているわけではないということらしいので、配置をどうするかということについては、なかなか皆さんの御希望どおりにいっていないかな、もしくはいきにくいかなということがあるのかもと思っています。ローテーションシステムというのが可能なかということについても、これはぜひ、皆さんの御希望がどのような形なのかというはあるのですが、ただ、先ほどの学習者用コンピューターの他の中学校との交流のときの活用、それとうまく合わせると、自分の学校に来ていないALTの先生とオンラインではいろいろ交流できるということがあるかもしれない。ほかの学校のALTの先生とオンラインでの交流とか、それからいろいろな工夫があるかもしれませんので、ぜひアイデアを出していただいて、より充実した学びができればいいのかなというふうに思っています。

最後に、生徒の方々から大変鋭い御提案をいろいろといただいていますので、私としても、可能なものから、ぜひ実現の方向に向かうといいかなというふうに思っております。

以上で私の答弁を終わります。

○議長（落合勝利君） 第四中学校は、ただいまの一般質問に対する感想をお願いします。

○5 番（金坂芽依君） この子ども議会という素晴らしい機会に参加することができて、本当に光栄です。私たちの提案で武蔵野市がよりよくなることを期待しています。本日は本当にありがとうございました。

○6 番（静 優月君） 先ほどの答弁のほう、ありがとうございました。



私たちは2人も時間をかけて武蔵野市のために考えたことなので、



難しいとは思いますが、ぜひ検討いただけるとうれしいなというふうに思います。こういう他校の意見も聞ける機会が私、初めてなのですが、納得できる部分もすごくあって、これからの武蔵野市がどうなっていくのだろうと、すごく楽しみになりました。本日はありがとうございました。

○議長（落合勝利君） 次に、武蔵野市の生活を快適にについて、第二中学校、9番後藤可也子議員、10番山下珠希議員、11番熊本悠亜議員。

（9 番 後藤可也子君、10 番 山下珠希君、11 番 熊本悠亜君 登壇）（拍手）

○9 番（後藤可也子君） こんにちは。武蔵野市立第二中学校の後藤です。

○10 番（山下珠希君） 同じく第二中学校の山下です。

○11 番（熊本悠亜君） 同じく第二中学校の熊本です。

○9 番（後藤可也子君） 私たち二中は、武蔵野生活を快適にというテーマでプレゼンさせていた

できます。そして、その中から3つの内容に絞りました。

1つ目は、全教室にエアコンをです。このテーマにした理由は、私たち武蔵野二生徒会は意見箱の活動を行っており、武道場にエアコンを設置してくださいという意見が多く投函されていたからです。現在、武道場にはエアコンが設置されていません。そして、エアコンが設置されていない場所は主に2つで、武道場と生徒会室です。武道場は地下にあり、夏の間は水泳の授業を行っているため、授業で使用することはあまりありませんが、放課後や夏休みに卓球部や陸上部が使用しています。

では、こちらを御覧ください。こちらはエアコンが設置されていない場所の室温です。1階は31.4度、2階は34.5度、3階は35.2度、1階地下は25.0度です。

では、室内熱中症というのを皆さん御存じですか。熱中症は、野外のみで起こるものではありません。室温が28度を超えると、室内熱中症になる可能性が高くなります。室内熱中症の症状は、主にめまい、吐き気、立ちくらみ、筋肉のけいれん、意識のもうろうなどです。そして、2024年8月までに23区内で熱中症で搬送された人が89人で、そのうち70人がエアコンを使用していない室内にいました。武道場がある地下室は地上に比べて涼しいですが、運動をすると暑くなり、熱中症になりかねません。

そして、もう一つのエアコンが設置されていない場所の生徒会室は、基本、私たち生徒会役員が放課後仕事をするためにある部屋で、使用している時間は主に16時から18時半です。6、7、8、9月は部屋に熱気が籠もり、暑く、扇風機は2台あるものの、暑さはあまり和らぎません。16時から18時半はまだ暑さが和らぐ、2時間半もいるとばててしまいます。そのため、ほかの教室を借りることもありますが、生徒会室のものを移動するのはとても不便です。そのため、エアコンが必要です。エアコンが設置されていないと、熱中症や体調不良になりかねません。どうかエアコンの設置を検討して下さると助かります。よろしくお願いします。



これで、全教室にエアコンをのプレゼンを終わります。

〇10番（山下珠希君） 次に、快適な生活に関連して、掃除についてお話しします。

二中の校内に置いた意見箱の中に、生徒から、更衣室が汚いので掃除をしてほしいという意見がありました。このことから私は、現在掃除がされていない更衣室の掃除をする取組を考えました。私は、when、いつ、where、どこで、who、誰かの3つの観点から、この取組についてまとめました。まずwhen、いつ、時間は掃除の時間、where、どこで、場所は更衣室を、who、誰が、人は、生徒が掃除をします。この更衣室が汚いので掃除をしてほしいという投書は、誰かに更衣室を掃除してほしいというものであり、生徒自ら掃除をしたいという内容ではありませんでしたが、生徒の使う場所であること、また実現のしやすさから、whoは生徒に設定しました。また、whoを生徒に設定した

ことから、whenは掃除の時間が最も適していると考えました。

二中では放課後、掃除の当番の生徒が、監督の先生がいる中で掃除をします。また、1週間ごとに掃除の当番が変わり、掃除の当番がない生徒もいます。また、週の決まった曜日のみ掃除のある教室もあります。この決まりから、whoを生徒に設定したことで、問題点が発生しました。それは、その場を監督、最終確認をする先生が必要になるということです。

この問題を解決すべく、私は2つの案を考えました。まず1つ目は、掃除の担当がない先生がいる場合、その先生に更衣室の掃除の監督を担当していただくこと。2つ目は、掃除の担当がない先生がいない場合、更衣室の掃除を週に1度にして、その曜日に掃除がない先生に更衣室の掃除の監督を担当していただくこと。生徒の割り振りは、1週間ごとに担当のクラスを変えることで、掃除の担当が偏り、不公平になることを防ぎます。その週に担当になったクラスは、そのクラスの中で掃除のない生徒から1班、5から6人、各クラスで選出してもらい、掃除をするものとします。

以上です。

○11番（熊本悠亜君） 私からは、学校から少し離れた話をしていきたいと思います。

最近、武蔵野市でも外国人の姿が多く見られると思います。京都などでもオーバーツーリズムという問題がありまして、ポイ捨てなどという問題があります。それに備えるという形で提案したいのが、ごみ箱の設置です。それはそれで景観が悪くなるだろうと言う人もいると思うのですが、ごみ箱の中では、このようなおしゃれなものもあったり、今画像がないのですが、イギリスでは投票式のごみ箱というのがあって、それはたばこを入れるものなのですが、自分がたばこを吸うときに、例えば世界一のサッカー選手はと書いてあって、左のごみ箱にはロナウドと書いてあって、右にはメッシと書いてある。それで、自分が吸うときに、例えば自分が好きなサッカー選手がメッシだったら、右のメッシと書いてあるごみ箱に捨てる、それでたばこの吸い殻が多いほうが人気ですよみたいな、そういう感じのごみ箱なのですが、イギリスの投票式のごみ箱と書いたら出てくると思うのですが、そういう面白いごみ箱もあります。

ごみ箱をたくさん設置したところで、どこにあるか分からなかったら本末転倒ですよ。それに対処するために僕が提案するのは、これです。これはアプリのスクショなのですが、このアプリはCoke ONといって、コカ・コーラ社が運営しているものなのですが、これはコカ・コーラの自販機がどこにあるかというのが地図で見えるものです。これをごみ箱に置き換えて、武蔵野市の位置情報アプリという感じにして、こういう地図上でごみ箱がどこにあるかというのが分かるようにしたらいいと思います。あとは、これは応用できて、武蔵野市の駐輪場とか駐車場とかというものの位置情報も表示させて、それを全部1個にしてという感じにすれば、とても便利だと思います。それを広めるためには、駅とかでポスターとかを貼って宣伝したら、とてもいいシステムになると思います。

これらのアイデアは、景観づくりのものにもなりますし、とても便利になります。あとは、武蔵野市はこんな新しいものも興味があって、きちんと行動に移せる市なのだということのアピールにもなります。

これで私からの提案は終わります。以上です。（拍手）

○24番（西園寺みきこ君） 後藤議員、山下議員、熊本議員からの生活を快適にしたいという強い

思いが伝わってきました。御提案ありがとうございました。武蔵野市というのは、とても狭い面積の中に、14万人以上の人が肩寄せ合って暮らすというのですか、本当に人口密度の高い自治体だと思います。一緒に快適に暮らすということには本当に知恵が必要だと思います。1つずつ答弁していきたいと思います。

まず1つ目、全教室にエアコンをという後藤議員の提案です。この季節、本当に毎日の猛暑で皆さんうんざりしていらっしゃる、エアコンがないというのは本当につらいことだと思います。扇風機だけで何時間も過ごすというのは、本当に現実的ではないなと、快適ではないなということは本当に共感いたします。



今回の提案の中では、きちんと、どこにエアコンがないのかということ調べたり、それから何度かという温度をきちんと測ったり、客観的なデータを添えて提案しているところがすばらしいと思います。暑いとか、涼しくない、嫌だという主観的な話だけではなくて、客観的なデータを添えて提案するというのは、とても大事なことだと思っております。ぜひこの点は改善していきたいと思います。

二中の状況については本日分かりましたけれども、もちろん今回の後藤議員の提案を基に、これは二中だけなのだろうか、ほかの中学校、小学校全体どうなのだろうか、やはりその視点がとても大事だと思いますので、今後、議会の仕組みを使っていながら、市内の小・中学校、もしかしたら保育園とか幼稚園だって、視線は広げなければいけないかもしれません。エアコンが設置されていない教室というのはどのくらいあるのかと、きちんと実態を把握して改善を求めていく、こういうことは議会ですることですので、ぜひ私もそれに取り組んでいきたいと思っています。少し見守っていただきたいなと思います。

こういうふうに、ほぼ皆さんの教室にエアコンは入っていると思うのですが、誰かが取り残されることのないような、そんな武蔵野市、学校にしていきたいと思います。御提案ありがとうございました。そして、この猛暑の原因、気候危機とか温暖化対策ということにも、ぜひまた思いをはせていただけたらいいなというふうに思います。

さて、2番目です。更衣室のお掃除についてです。これも二中の生徒会の皆さんが、意見箱の活動を基にして、その気づきを今日持ってきていただいているというのは、とてもいいことだと思います。意見箱の中には、いいもの、建設的なものもあれば、そうでないものもあるかなと思うのですが、そういう意見箱の活動を生徒会でしっかり取り組んでいることは大変いいことだなと思っています。

今回の山下議員の今日のお話によれば、監督の先生がきちんと割り当たっていないという現状があるようです。そういうことですね。それで、必ず監督の先生がつくようにすることで改善できるのではないかと、こういう御提案だったと思います。これについては、ぜひ学校の中でしっかり、校長先生、担任の先生、あるいは美化の担当の先生なんかと御相談いただきたいなと思っています。やはり現状をしっかりと把握するということはとても大事です。

ちょっと話はずれますけど、割れ窓理論というのは、皆さん、耳にしたことありますか。割れ窓理論、

聞いたことあるかな。アメリカの犯罪学者のケリング博士という方が、まちの中で1枚どこか窓ガラスが割れていると、それを直さないで放置しておく、だんだんまちが荒れていって犯罪が増える、という理論です。最初の気づきが大事だということなのですからけれども、まちの中でいうと、まち外れ、学校の中でいうと、ふだんみんながいっぱいいる場所ではない、更衣室とか体育館の裏とか、そういうところが、やはりなかなか目が届きにくい。割れ窓は最初の1枚から直していくことが大事ということだと思うのですが、今回の更衣室のお掃除が行き届いていないという気づき、これもぜひ改善をしていくように知恵を出し合っていきたいと思います。

それでは、熊本議員のごみ箱の話です。オーバーツーリズムという言葉、本当に今、国内で目にしますよね。生活者の視点で、本当にまちをきれいにしたいのだという気持ちだと思います。日本は世界全体で見れば、決して不潔な国とは言えないとは思いますが、それでももっときれいな国というのがありますし、少しでもきれいにしていきたいという熊本議員のお考えは、そのとおりだと思います。

先ほど御紹介があったように、近年、スマートごみ箱というのが発明されているのですよね。調べてあるとおりです。観光客の多い渋谷区とかスカイツリーの周辺など、全国では400台以上、先ほどの写真に出たスマートごみ箱がもう設置されているそうです。ソーラーパネルで動く自律型、ごみをぎゅっと圧縮して、そのたまり具合もスマホで確認できるという、そういうスマートごみ箱が今出てきているということなのだと思います。観光客が多いエリアでは、今後導入が進んでいくのではないかと思います。イギリスの投票式のごみ箱の御紹介もありましたよね。スマートごみ箱の導入については注目していきたいと思います。

注目と言ったのには、実は理由があります。すぐにこれを増やしましょうと、なかなか言えない理由があります。御存じのように、1995年、地下鉄サリン事件が大きなきっかけになって、駅や公共施設からはごみ箱というものが姿を消しました。理由は皆さん知っていますよね。ごみではない不適切なもの、危険なものが捨てられる危険性というのが、やはりなかなか排除できないのです。だから公共の場所にごみ箱は本当に、駅にもない、今そういう状況が続いています。スーパーやコンビニの店頭にもいろいろ回収ボックスがありますが、やはり家庭ごみを捨ててしまう人が必ずいる。それから、割れ物とか火が出るものとか、注射針なんかを捨ててしまう人もいるというのが現状なのです。世の中ルールをきちんと守ってくださる方ばかりだといいいのですけれども、ルールを守らない方がやはりいて、その方のせいで収集の方がけがをするのは困るのです。そういうことがあったりする。そういうルールを守らない方のせいでごみ処理の費用が高くなるというのも、やはり違うのではないかなと思いますよね。こういうことはなかなか難しいなというふうに思っています。

しかし、これから先、もっといいごみ箱がもしかしたら開発されるかもしれません。熊本議員さんも、もし可能でしたら、将来こういうみんなのためになる、もっとまちがきれいになるスマートの、いいAIがついているような、何かそういうごみ箱のようなものを開発する、発明する側になっていただけたらいいかなと思います。みんなが喜ぶようなごみ箱を、ぜひ考えてください。

それから、アプリです。それは今でも武蔵野市のいろいろなマップ、公園マップとか駐輪場マップなんかがありますので、これをスマホで見れるようにできるかというのは、ちょっと今すぐにはお答えできないのですが、実現できることだと思うので、これはぜひ求めていきたいと思っています。以上、

二中の3人の方の生活をきれいに快適に安全なものにしたいという御提案、ありがとうございました。
答弁は以上です。

○議長（落合勝利君） 第二中学校は、ただいまの一般質問に対する感想をお願いします。

○9番（後藤可也子君） 御答弁ありがとうございます。
エアコンがないとか、掃除の問題とかをきちんと問題視してくださり、本当に助かります。私自身でも、中学校だけではなく、小学校とか幼稚園とか、そういうことの視野も広げてくださり、本当にありがとうございました。今回はこのような機会を設けてくださり、ありがとうございました。



○10番（山下珠希君） ありがとうございます。私の学校、二中には、意見箱を生徒会主催で置いているとい



うふうなお話をさせてもらったと思うのですが、意見箱の中に入っている意見というのがやはり様々あって、改善が難しい、例えばスマホの持込みを許可しろとか、むちゃぶりですね、そういったものが入っていたりもするのですが、そういうものはやはり実現できなくて、でも実現できませんと言うと、何で実現できないのだというふうな文句だったりとか暴言が意見箱の中に入っていたりとかというふうなときがあったのですが、でも、今回のような場を設けていただいて、意見箱の中に入っていた意見にこ

ういうものがありましたということをお伝えして、議員の方にたくさん考えていただけて本当にありがたかったです。今回はこのような場に参加できて本当にうれしかったです。ありがとうございました。

○11番（熊本悠亜君） ありがとうございます。
ごみ箱の発明家になるというのは、こちらも検討させていただきたいと思います。いい意見ありがとうございます。

以上です。



○議長（落合勝利君） 次に、スタディカフェについて、第六中学校、7番足立帆乃香議員、8番藪田心結議員。

（7番 足立帆乃香君、8番 藪田心結君 登壇）（拍手）

○8番（藪田心結君） 第六中学校の藪田心結です。

○7番（足立帆乃香君） 第六中学校の足立帆乃香です。

○8 番（藪田心結君） これから第六中学校のプレゼンを始めさせていただきます。

突然ですが、皆さん、勉強会というのをやったことありますか。勉強会と聞くと、ファミレスや武蔵野プレイスなどでやるイメージがあります。

○7 番（足立帆乃香君） しかし、ファミレスで勉強するのは気が引けるし、プレイスって、何かすごい混んでいませんか。そこで、私たち第六中学校は、スタディカフェを提案します。

○8 番（藪田心結君） スタディという言葉聞いてどんなカフェなのか、ぴんときている方もいるでしょう。スタディカフェとは文字どおり、勉強するためのカフェなのです。主に韓国で普及しているカフェとなっており、個人事業主が多いことや、学歴社会として名高い韓国では、多くの人が利用する施設となっています。

○7 番（足立帆乃香君） 店員さんがいるカフェや、無人でセルフとなっているカフェなど、様々な種類のカフェがあります。ほかにも、Wi-Fiが使える、夜遅くまでオープンしている、充電用のコンセントが使える、カフェ利用者はみんな勉強している、飲物が2杯目から



から安くなるといった特徴があり、利用者へのサポートが手厚くなっています。

○8 番（藪田心結君） 実際に私の韓国の友達に聞いてみたことなのですが、韓国の学生がスタディカフェを利用する際は、毎日通ったり、丸1日利用することが多いそうです。このようなことから、利用者へのサポートが手厚いということが分かります。

○7 番（足立帆乃香君） では、なぜ私たちが、このスタディカフェを提案したのか。一番の理由としては、友達と一緒に勉強できる場所が少ないということです。

今、武蔵野プレイスでよくないかと思った方いますね。実はプレイス、幾つかデメリットがあるので

○8 番（藪田心結君） その1つ目が、席が取れるか分からないという問題です。プレイスは地下2階にスタジオラウンジという場所があるのですが、席の事前予約はすることができません。コミュニティセンターも同様です。勉強や作業ができるロビーや自習室、サロンの事前予約はできません。

○7 番（足立帆乃香君） しかし、スタディカフェなら問題ありません。スタディカフェは多くの種類があるため、事前予約の可能な店舗もあります。

○8 番（藪田心結君） デメリット2つ目は、しゃべられる場所が限られているということです。先ほども話したとおり、学生は友達と勉強する機会があります。なので、しゃべることのできる場所は必須となります。

○7 番（足立帆乃香君） では、これまで私たちが出した条件をまとめると、しゃべることができる、確実に利用できるという条件が挙げられます。これらの条件を満たしたものこそ、私たちが先ほど

提案したスタディカフェとなります。

○ 8 番（藪田心結君） しかし、ここで問題が発生します。それは、スタディカフェをつくる上で高額な費用がかかるということです。

そこで、私たちが考えた解決策が。

○ 7 番（足立帆乃香君） 学校のスタディカフェ化です。市内に多数在校する学校を使うことで、スタディカフェをつくる費用を大幅に削減することができます。

ここで注意点が挙げられます。それは、学校をスタディカフェ化する場合、土曜日や長期休みのみということです。また、学校の校舎内を使用することになるので、利用者の対象は、その学校の生徒となります。平日は基本的に難しいと推測されます。

○ 8 番（藪田心結君） では、学校のスタディカフェ化についての詳しい内容をお話ししていきます。

学校を利用できる日は、土曜日や長期休みの間のみとすること。その理由としては、平日は多くの部活が活動していることや、見守りを必要とした場合、先生方の負担となるためです。そうすると、利用者の見守りを誰にしてもらうかという問題が発生してきます。私たちは、その解決策も考えました。

○ 7 番（足立帆乃香君） それは、土曜日に行われる学習支援教室の指導員さんに頼めないかということです。私たちが通う第六中学校では、毎週土曜日に学習支援教室というものがあり、指導員さんが来てくださっています。私たちはこの点に着目し、考えてみました。

土曜日の学習支援教室の後に残りたい人は残って勉強できる時間をつくれればいいのではないかと。また、先ほど見守りを先生方にしてもらうのは、先生方の負担になると言いましたが、長期休みの間は平日よりも多少は時間があるのではないかと考えたので、長期休みの間は先生方に見守りを頼めないかと考えています。

○ 8 番（藪田心結君） では、土曜日、長期休みの学校開放、つまり学校のスタディカフェ化のメリットをまとめると、新たに建物を建てる必要がないため、高額な費用がかからない、学校を利用する生徒は、ふだんから慣れ親しんでいる環境で過ごすことができるという点が挙げられます。

○ 7 番（足立帆乃香君） 最後に、私たちの提案をまとめると、学生が利用しやすく、環境の整っているスタディカフェをつくる。しかし、つくるのに高額な費用がかかるため、打開策として、土曜日や長期休みの間の学校開放を行うの2つとなります。

○ 8 番（藪田心結君） 以上のことを踏まえ、皆様には、これからの未来を担う私たちにぜひとも投資をしていただきたいと思うのですが、市議会の皆様は私たちの提案についてどのようにお考えでしょうか。

以上となります。御清聴ありがとうございました。

○ 7 番（足立帆乃香君） ありがとうございました。（拍手）

○ 3 番（大野あつ子君） それでは、第六中学校の足立帆乃香議員、藪田心結議員の質問にお答えいたします。

非常に分かりやすくパワーポイントをまとめていただきまして、皆さん楽しく見させていただいたと思います。スタディカフェとして学校施設を開放して、生徒同士が教え合い、学び合う場とできないか

という御提案でございます。

この提案の肝は、生徒同士が教え合うというところだと思います。皆さんが御指摘していただいたとおり、中高生の居場所というキーワードが出ますと、私たち大人が何を思い浮かべるかといいますと、やはりコミセンがあるのではないかと、図書館があるのではないかと、プレイスだってあるのではないかとということがありますが、本当に皆さんが御指摘いただいたとおり、思う存分そういう場では話すことができない、教え合うことができないというのは、そのとおりだと思います。また、御提案の中でもあったとおり、新しく中高生の居場所として特別な場所をつくるということを考えますと、初期費用もかかりますし、中学生にとってはやはり交通手段というのが限られますので、家から遠い居場所よりも、家から近い、通い慣れた学校というものが非常に利用しやすい場所であるというのは、当事者の御意見、当事者の視点として大変大事なところに目をつけていただいたと考えます。

本市の第六期長期計画という、本市の施策の基本、一番大元になる計画の中でも、子ども・教育とい



うところには、個に応じた自信及び生涯に続く学ぶ意欲を育むための施策を推進していくというふうにあります。生徒同士が教え合うというのは、まさにこの武蔵野市が目指している生涯に続く学びに通じていくものだと考えます。また、生徒同士が教え合うというのは、知識の定着という面でも非常に役に立つことだと考えます。

そこで、では学校施設を活用するということを法律の面で考えますと、社会教育法第44条では、学校の管理機関は、学校教育上支障がないと認める限り、その管理する学校の施設を社会教育のために利用に供するように努めなければならないとあります。また、学校教育法第137条では、学校教育上支

障のない限り、学校には、社会教育に関する施設を附置し、または学校の施設を社会教育その他公共のために、利用させることができると記されています。ここから分かることというのは、学校教育上支障のない限り、社会教育に使うことができるということです。

御提案にあったとおり、土日や長期休暇中に、先生という言葉もちょっと出たかと思うのですが、今、学校の先生方、大変に多忙なので、やはり先生方に頼むということではなく、教員以外の方々に関わっていただいて、皆さんの提案の中では学習指導員ということも出ておりましたが、どういう方に関わっていただくかということは研究の余地があると思いますが、先生以外の方が関わって、社会教育の場として学校開放に取り組むというのは大変有意義なことだと考えます。

例えば高校生ですと、私の子どもが通っている高校では、職員室で名前を書くと、自分の教室で勉強したり図書館で勉強したりということができるようになっているということでもあります。このような長期休暇中に、その学校の生徒が学校の施設を使うということはそんなにハードルが高くないという部分もありますが、例えば武蔵野市内の中学校においてこれを実現するためには、やはり安全面であったり、ロッカーの私物をどうしていくかというような課題を整理していかなければならないのかなというふうにも考えます。

皆さんとずっと、子ども議会を行う上で、アイデア出しをした中で、学校のロッカーに鍵がかかる、しっかりとしたロッカーが欲しいという意見も出ていたと思います。そういうことも考え合わせながら、皆さんが学校施設を自由に使って、スタディカフェとして使って、皆さんがぜひ将来の武蔵野の宝となって成長していただけるように投資をするという意味で、市長も教育部の皆さんも今日聞いていただいておりますので、私からもしっかりと働きかけてまいりたいと思います。

以上、答弁とさせていただきます。

○議長（落合勝利君） 第六中学校は、ただいまの一般質問に対する感想をお願いします。

○7 番（足立帆乃香君） 答弁ありがとうございました。拾ってほしいところを本当に、ほとんど全部と言っていいほど拾ってもらって、本当にうれしいです。あまり明るくない法律からの引用とかもしてくださって、本当に超うれしいです。先ほどおっしゃったとおり、幾つか壁があるとは思いますが、夢物語だとは思っていないので、ぜひ投資をしてくれたらうれしいなと思います。本当にこんな貴重な機会に参加できてうれしいです。ありがとうございました。



○8 番（藪田心結君） まず初めに、このような場を設けてくださり、本当に感謝します。私たちはこのプレゼン資料を作る上で、それこそプレイスを利用して作ったのですが、そこの職員の方々からも、ほかの人たちからも肯定的な言葉をもらっています。なので、今回このプレゼンをして、皆様に肯定的な言葉をもらえたので、彼女が言ったとおり、私も超うれしいです。なので、ぜひとも私たちに投資をしていただけると本当にうれしいなと思いますので、よろしくお願いします。このたびはありがとうございました。



○議長（落合勝利君） 次に、リュックの軽量化について、第一中学校、3 番松本紗弥議員、4 番中嶋しづ議員。

（3 番 松本紗弥君、4 番 中嶋しづ君 登壇）（拍手）

○3 番（松本紗弥君） 武蔵野市立第一中学校、松本紗弥。

○4 番（中嶋しづ君） 中嶋しづ。

○3 番（松本紗弥君） これから私たちは、リュックの軽量化についての提案をしていきたいと思います。

まず初めに、なぜリュックの軽量化を提案したのか、理由についてですが、小学生の頃から日々リュックが重いと感じており、それは私だけでなく、周りからもリュックが重いという悩みの声上がるほどでした。中学生となった今、教材の数も増え、よりリュックの重さについて悩まされる日々が続くほ

かに、周りの人からの声も、小学生のときとは比にならないほど増えていきました。

そこで、この悩みを皆さんにも考えていただきたく、今回この場を借りて提案することにしました。

○4 番（中嶋しづ君） 今の現状として、中学生のリュックの重さが、全国的に見て平均10キロもあるとされています。重いリュックを持ち続けることで側弯症になってしまった子、肩凝りや腰痛などの体の不調に悩まされる子が増えています。また、アジア圏で日本の平均身長だけが伸びていないのも、これが原因ではないかと思います。実際に、このグラフを見てください。小学生では約半数以上、中学生では7割以上が、体重の20%以上の重さの荷物を担いで登下校しています。米國小児学会によると、リュックの重量は体重の15%以下、またスペインとイギリスの大学研究では、体重の10%以下が子どもの健康を損ねない重さとされています。

実際に私たちの学校で2年生にアンケートを取った結果、リュックが重いと感じる生徒は、111人いて96人、リュックの軽量化をしてほしいという意見は97人と、過半数以上が賛成をしています。また、同じように体の不調を感じたことがあるかアンケートを取った結果、9割以上があると答えました。

○3 番（松本紗弥君） このように、重いリュックを背負って毎日登下校することが、子どもの健康を損ねています。ここで実際に私たちの時間割に合わせた荷物と、学期末やテスト期間などで持って帰る教科が比較的多いときの荷物を持ってきました。これらの重さを比較していただくためにも、ぜひ小美濃市長、市議会議員の方々も、持って体感してみてください。



今感じてもらったように、私たちが毎日登下校しているときに持っているリュックは、とても重いです。登下校の時間は、10分ほどの人もいますが、30分以上かかる人もたくさんいます。この重量化の重さを解決すべく、私たちはデジタル教科書の導入を提案します。

海外では、タブレット1台のみで登校している国もあり、デジタル化が進んでいます。武蔵野市は1人1台タブレット配付、学校のICT環境整備も整っています。しかし、実際に日本でデジタル教科書が整備されている小学校、中学校、高校は、この資料を見ても分かるとおり、全体の10%にも届いていません。そこで、導入について、市の見解をお聞かせください。

○4 番（中嶋しづ君） 次に、この資料を見てください。平成28年度から各教科のページ数が増え、教科書総ページ数は約34%も増えています。ページ数で言うと1,000ページにも及びます。さらに、一般社団法人教科書協会によると、教科書の紙質向上や大判化などにより、教科書自体が重くなっています。

ここで、学期末の教科書の置き勉強を提案します。置き勉強制度自体はやっている学校が多いと思います

が、学期末には全て持ち帰るというのが原則だと思います。しかし、夏休みや冬休みという長期休暇の中では、使わない教科書などはたくさんあります。実際に今回の夏休み、私たちの学校では、技術、美術、保健体育は宿題が一切出ませんでした。宿題として出されない教科に関しては、長期休暇中に使うことはありません。そのため、学期末にも置き勉強をしていいのではないかと考えます。この提案についても市の見解を伺います。

子どもたちの登下校の負担を少しでも減らし、勉強に集中できるようにするためにも、ぜひリュックの軽量化について前向きにお考えください。

以上で終わります。御清聴ありがとうございました。（拍手）

○４ 番（深田貴美子君） それでは、第一中学校、松本紗弥議員、中嶋しづ議員の一般質問に御答弁を申し上げます。

このたびは、まさに社会調査に当たります全校にアンケート調査をなされたこと、これは極めて実証性の高い調査となります。そして、様々な詳細なデータ、こちらもお示しいただきました。ぜひとも今後、御提案をいただくときには、こうしたデータに基づいて意見、そして要望を示していくということを、ぜひこれからも続けていただきたいと思います。基本的な提案の根拠となってまいります。

そしてさらに本日、具体物もお持ちいただきました。正直、重くて、私の年齢では大変厳しい。よくこれだけ重たいものを連日、登校の際に持って、担いでいただいているという事実は、これは市議会議員のみならず、教育委員会も重く受け止めなければならない現状ではないでしょうか。私も中学校の時代はバレーボール、高校は弓道部でした。様々な荷物を、まさに弁慶のごとく担いではいましたけれど、本日経験させていただきましたこのリュックの重さは、当時の荷物と比べものにならないぐらいの重さです。これは成長期におけます皆さんの健康、そして心身ともに大変厳しい現実があるということを理解しました。



そして、御指摘のとおり、教科書については、学習指導要領の改訂により、教科書が増えたこと。そして先ほどからも答弁がありますように、写真などが重視されて大判となり、教科書そのものが厚く、重くなったという指摘があります。また、GIGAスクール導入により、タブレットが配付された、これも荷物が過重になる要因になっていると認識しています。

御提案にありましたように、そして今実際に実体験させていただきましたように、総重量が10キロを超える現状、これは改善すべき大きな課題だと改めて認識をいたしました。そして、御提案の中で米国の小児学会によるデータもお示しいただきましたように、側わん症の問題、私も娘が中学生、高校生のときに、側わん症で悩む親御さんの御相談をPTA活動の中で深刻に受け止めたときがございました。ですので、お申し越しは十分理解するところであります。

小・中学生の通学時の携行品の重量の問題は、武蔵野市の教育委員会においても認識をしており、平成30年7月の定例校長会で話題とさせていただきましたのがスタートであります。その後、平成30年9

月6日付で、文部科学省初等中等教育局教育課程課、そして文部科学省初等中等教育局教科書課、文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課より、児童生徒の携行品に関わる配慮についてと題し、各都道府県教育委員会指導事務主管課等に通知がされています。内容は、授業で用いる教科書やその他教材、学用品や体育用品等が過重になることで身体の健やかな発達に影響が生じかねないことへの懸念や、意見が多く寄せられていることから、これは全国的な傾向ですので、学校における工夫を求める通達であります。

事例を御紹介しますと、日常的な教材や学習用具については、宿題で使用する教材等を明示することにより、家庭学習で使用する予定のない教材等については置いて帰ることを認める、いわゆる一部置き勉を認める、推奨するという内容です。また、部活動の用具のうち個人が所有するものについては、鍵のかかる部室やロッカーがあれば置いて帰ることを認めるなど、こうしたことも通知されました。さらに細かくは、書道については筆のみを持ち帰るなどの事例も記されています。

このたびの第一中学校の皆様より御提案いただきましたことを踏まえて、いわゆる置き勉を可能とするための学校施設におけるロッカー設置や棚の整備等、こちらの実態調査を行う必要があるのではないかと認識をしました。また現在、学校改築に取り組んでいることから、設計における確認作業が必要であるということも認識したところであります。また、令和5年3月の予算特別委員会においても、先ほども御案内ありましたように、多くの議員からも質疑があったところであります。当座すぐに何とか対応するための根拠として、調査に議会全体で当たりたいと思うところであります。

平成31年2月に、市内全校で保護者に通知をいたしました。置いておける教材については置いていただき、学期初め、期末における教材や学習用具等については、1日1つになるように計画的に持ち帰ることや、その他の留意点として、教材等について置いて帰ってよいものについては年度当初にリストを配付して児童生徒に周知する、こうしたことを文書で保護者の方々に連絡通知するなどの通知に基づいて徹底をしているところではありますが、本日あれだけの重たい荷物を実際に担がせていただきました立場から、速やかに、9月の決算委員会におきましても、この実態把握に多くの議員が質疑を重ねることに期待をしたいと思っております。

そして、大きなもう一つは、デジタル教科書の導入です。こちらにつきましてはGIGAスクール構想が当初導入される時点で、既にデジタル教科書の必要性、これについても多く国政におきましても議論されていたところであります。今後このデジタル教科書につきましても、これからの、それこそペーパーレス化、そしてデジタル社会に向かって、まさにもう皆さんはデジタルネイティブでございますので、これからの高度情報社会を生きていただくためにも、ぜひともデジタル教科書については速やかな導入ができるよう国に求めていけるとよろしいかなというふうに思っております。

そしてさらには、先ほど第四中学校の議員さんからも、学習者用コンピューターの活用について様々な課題があることも指摘されましたので、ぜひとも一度、今回GIGAスクール構想の第1期としての総括につなげてまいりたいと思います。

以上でございます。

○議長（落合勝利君） 第一中学校は、ただいまの一般質問に対する感想をお願いします。

○3 番（松本紗弥君） まず、貴重な子ども議会というこの場をお借りして、自分たち子ども目線で武蔵野市をよりよくするにはどのようなことを提案したらよいか考え、実際に提案することができたのは、とてもすてきな体験ができたなと思います。また、私たちが提案したことに対して、よりよく、しっかりと考えていただき、本当にありがとうございました。今日は、この場、子ども議会というものを開催していただき、本当にありがとうございます。



○4 番（中嶋しづ君） 答弁ありがとうございます。一般質問をした私たちも、これだけで終わらずに、この後に学校に持ち帰って、もう1回先生と話してみたりなどして、行動に移していきたいと考えています。今日はありがとうございました。

○議 長（落合勝利君） 以上をもって一般質問を終わります。

ここで本日の提案の取扱いについて御報告いたします。

○22番（山本ひとみ君） 議会運営委員会の委員をしている山本ひとみでございます。子ども議員の皆様、本日は皆様から本当に貴重な御提案を数多くいただきまして、ありがとうございました。

提案の取扱いの説明なのですが、今日は、皆様も初めてのことであって、大変緊張もあったかと思います。提案については、その理由や実施方法など御提案もありまして、大変よく考えられていると痛感いたしました。この皆様からの貴重な御提案は、それぞれの日頃の経験に裏づけられた子ども議員ならではのすばらしい内容だったと感謝申し上げたいと思います。

今後の取扱いについてなのですが、いただいた御提案は、市議会ですでによく検討いたしまして、対応を協議したいと思っています。方法につきましては2点お話をしたいと思うのですが、議会運営委員会から市長や教育委員会に文書で要望するという方法が1つあります。また、先ほど報告がありましたけれども、決算特別委員会というのが9月の後半に予定されております。また、各議員の一般質問というのもあります。そこで取り上げるという方法もございます。この市議会での質問や答弁は、後日、市議会ホームページで議事録として公開されます。また、議事録の冊子、ペー



パーも、3月、6月、9月、12月と各定例会があるので、その定例会ごとに冊子が出されるということになっております。いずれにいたしましても、市議会から、市長が責任者となっている市長

部局、それから教育委員会等に要望をきちんと届けていきたいと考えております。

本日の取組で、子ども議員の皆様は、議会との距離がこれまで以上に近くなったと皆様からお話もありました。ぜひとも今後の市議会の動きに御注目をいただければと思います。

子ども議員の皆様、また、傍聴にいらっしゃった関係者の皆様、大変お暑い中での御参加、本当に今日はありがとうございました。

○議 長（落合勝利君） 以上をもって本日の日程は全部終了いたしました。

会議を閉じます。

これをもって令和6年第1回武蔵野市子ども議会を閉会いたします。（拍手）

***** 午後 4時05分 子ども議会 閉 会 *****

副議長あいさつ



副議長のひがしまり子でございます。それでは、講評と、それから閉会の挨拶をさせていただけたらと思います。

今日御参加の一般質問をされた議員の皆様、大変お疲れさまでした。2回の打合せ並びに様々な資料などの作成の時間、費やされたと思います。今日参加してよかったという方は、ぜひ手を挙げてみてください。こちらの議員も、全員の方かなというふうにお見受けいたしました。

本当に今日、鋭い視点の質問が非常に多かったと思います。また、すぐに具現化できる質問もあったのかなというふうに感じております。また、今日提案していただいたことを、ぜひここに参加している議員も、これから新しいアイデアとして、皆様の斬新な思い、そして提案を受け止めて、これから市政に生かしていきたいと思います。

最後に一つ、私が実は今提案をしていることが、今日この中にいらっしゃる議員の皆様からの提案と同じだったものが1つありまして、びっくりいたしました。やはり視点としては、みんな市を一生懸命考えていく、前に進んでいきたいという思いは一緒だなということを感じているところでございます。今日は本当にお疲れさまでした。

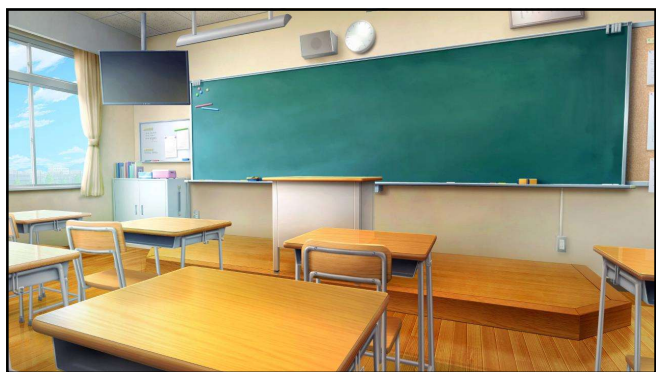
これをもって、本日、令和6年第1回武蔵野市子ども議会を閉会いたします。お疲れさまでございました。

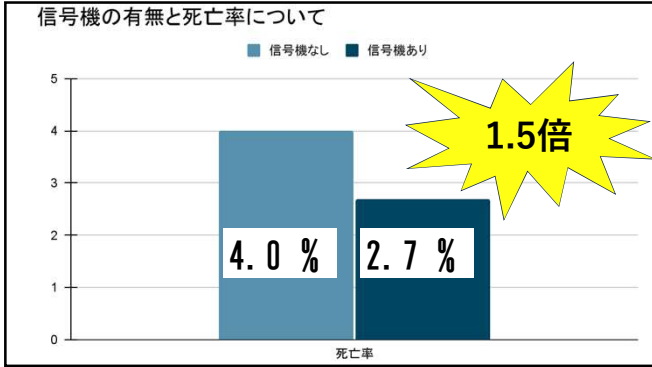
7 当日プレゼン資料

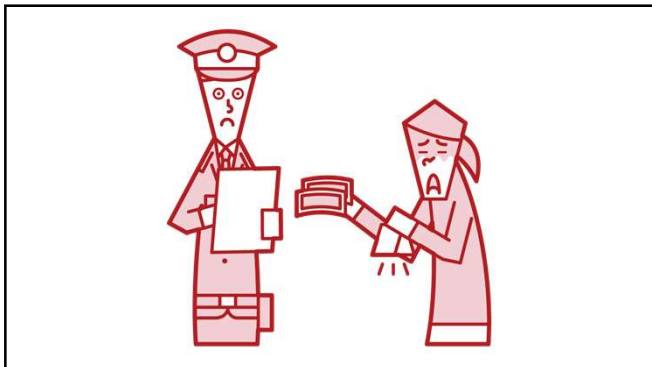


武蔵野市立第三中学校

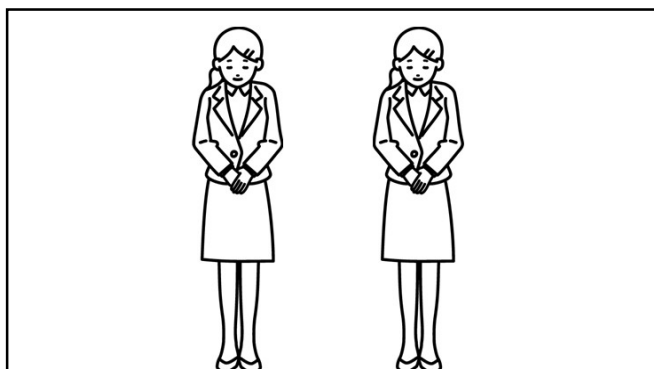
交通安全・学校交流







より**良い**武蔵野市へ



武蔵野市立第五中学校

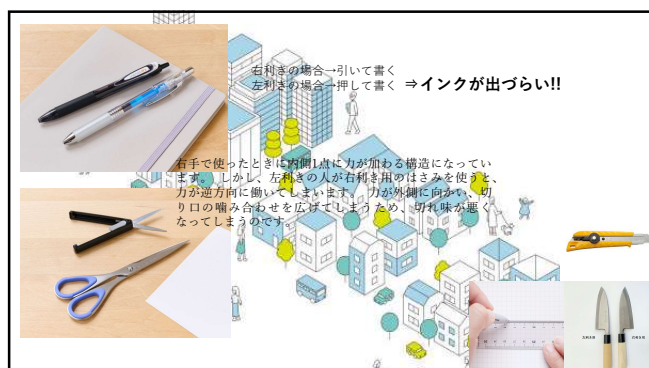
林杏樹
本橋春虎
布施陽都

目次

1. 第一部

2. 第二部

3. 第三部





すべてのひとがストレスなく暮らせるような街にするには些細な部分でも配慮していくことが大切!

停留所で待ってます

ALL武蔵野

愛は地球を救う

武蔵野市立第五中学校

年々増える苦勞

～重すぎるリュックと
どこでもドアが欲しい日々～

今の小学生のリュックの重さは...



脅威の

4.28kg！！

4キロは電子レンジと
同じくらい！！

それに対し中学生は、



10kgに

及ぶものが多い

このままでは・・・

背骨が曲がったり・・・
転んでしまうなどの事故が
起こったり・・・

そして、暑い！！

そこで！

ムーバスを使ったスクールバス



不審者や交通事故
停留所がある
遠距離通学



ドライバーの減

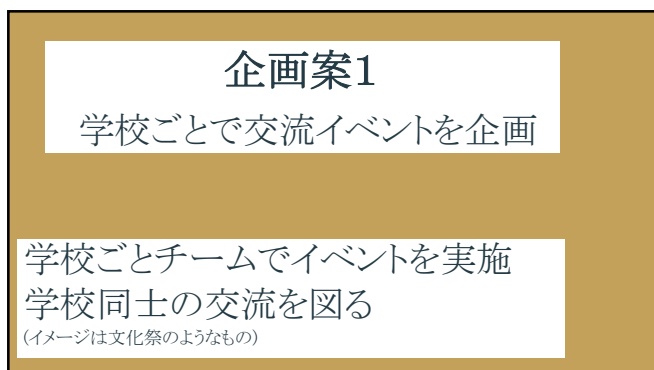
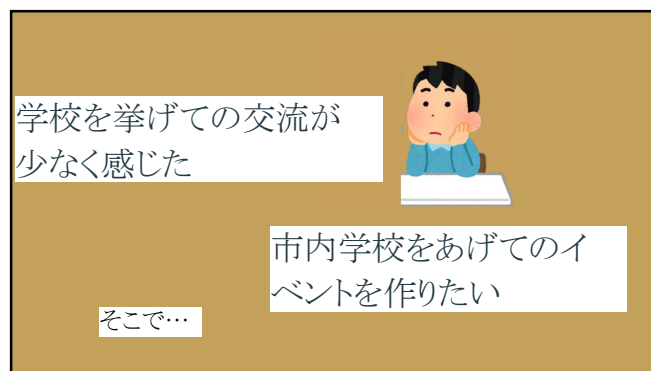
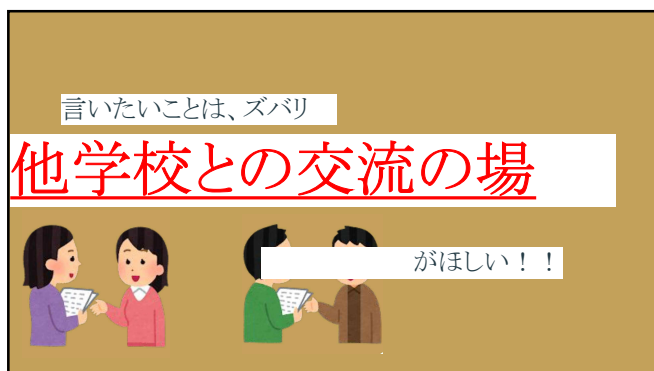
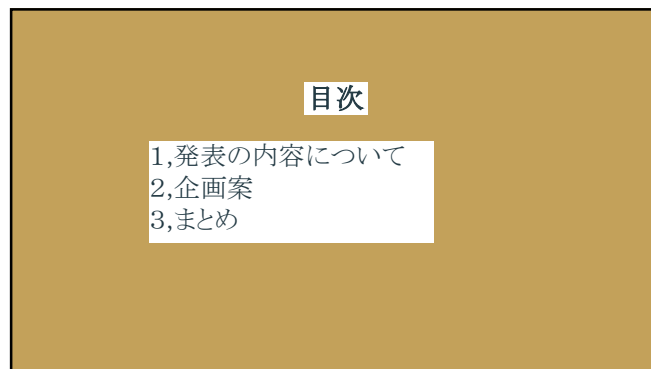
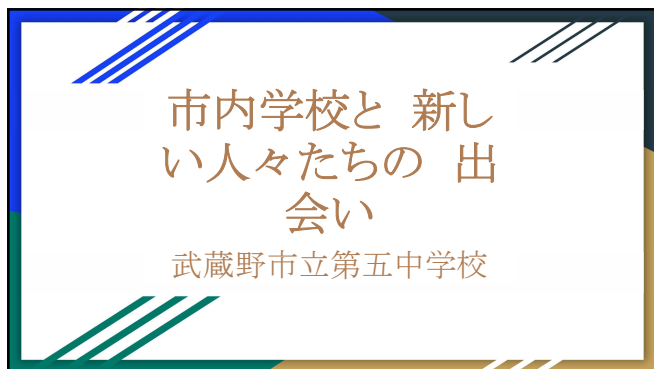


ロッカーを大きくする

教科書の拡大化を止める



まとめ



どういうことかという…
各学校でそれぞれ別々の教科を
実施する

例)1中では国語、2中では数学を実施するなど。
これを6時間分行う

企画を行うにあたって

メリット

- 様々な交流の方法を
取る事ができる
- 学校ごと特徴を活かして
行える
- 生徒同士での関わりが
多くなる。

デメリット

- 準備が大変
- 実施人数が多くなる
=管理が難しい
- 会場や教室などの
確保が難しい

まとめ

学校同士の交流には

- 学校同士の協力や連携
- イベント企画段階での準備の入念さ
- 学校同士での生徒人数

などの問題もあるが、

市内の生徒たちの距離が縮まる良い機会 になると
考えられる。

第四中学校

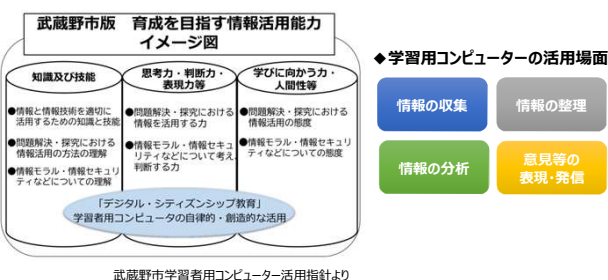
金坂 芽依
静 優月

武蔵野市役所7階 市議会本会議場
2024年8月18日 午後2時

発表内容

- 1.学習者用コンピューター
- 2.ALTの先生

学習者用コンピューター導入の目的



学習者用コンピューター現状の困りごと

①フィルタリングによって必要な情報が得られないことがある

- フィルタリング
- SNS やチャットなどのコミュニケーションに関わるサイト
 - アダルト、児童ポルノなど不法な内容に関わるサイト
 - 暴力行為などの過激な表現に関わるサイト
 - 宝くじスポーツくじなどのギャンブルに関わるサイト
- など児童・生徒の健全育成に悪影響を与える可能性のあるサイトにフィルタリングを設定しています。

武蔵野市学習者用コンピュータ通信 第38号より

- 授業で困りごと
- ・国語の授業で短歌を調べる際に見れないサイトがある
 - ・校外学習やセカンドスクールの事前学習で調べる際にみれる情報が限られる
 - ・Wikipediaが閲覧できない

【提案】 アクセス・リクエストシステム（武蔵野市全体）
フィルタリング個別調整ができる環境をつくる

学習者用コンピューター現状の困りごと

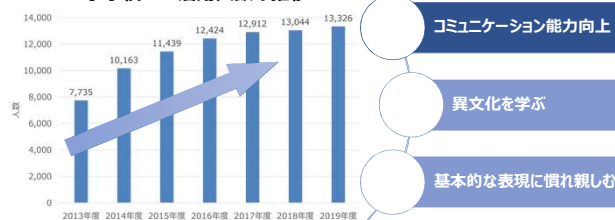
②学校や先生によってコンピューターの使用頻度や活用に差がある

小学生（千川小学校）の時	中学生の今は
●ほとんどの授業でパソコンを使っていた。 ●授業中にタイピングの練習を行っていた。 ●宿題の提出や情報共有もパソコンを使っていた。 ●授業中に終わらない場合は、家でも続けて作業ができた。 ●スライドを使った発表や提出の機会も多くあった。	●一日に一度使うかどうかの使用頻度。 ●提出物はほとんど紙で行う。 ●パソコンのスキルを磨く授業が少ない。

【提案】 Scratchを取り入れた授業（数学・理科・社会など）
他の中学校（地方や海外）との交流授業

ALTの先生方導入の効果

小学校ALT活用人数の推移



コロナ禍のALT不足から考える、小学校英語教育における効果とは
1枚目の写真・画像 | 教育業界ニュース「ReseEd」（リサーチド）

武蔵野市HPの教育部指導課より

ALTの先生の配置について

- 現状**
- ・ALTの先生は武蔵野市に7人から8人いる
 - ・現在、ALTの先生が回ることはない
 - 武蔵野市のALTの導入規約に反しているのではないかな

- 理想**
- ALTの先生方を1年から2年の期間でいろいろな学校へ回してもらう

【提案】・ALTの先生方のローテーションシステムの導入

提案のメリット

◆他国の文化を学ぶことができる

その他、特にお祭りや日本語との比較ができる

- ・自己紹介時や授業のテーマに沿って様々な異文化の話が聞ける
- ・新しい視点から英語を学べる
- ・勉強意欲、生徒の将来像を高めることができる

どの教科書や参考書からも学べない

提案のデメリット

英語科の先生方と新しいALTの先生との連携が取りにくい

授業内容相談もづらい

ALTの先生方も1年から2年周期だとその学校に慣れするのも難しい

まとめ

◆学習者用コンピューター現状の困りごと

①フィルタリングによって必要な情報が得られないことがある

【提案】 アクセス・リクエストシステム（武蔵野市全体）
フィルタリング個別調整ができる環境をつくる（専任職員）

②学校や先生によってコンピューターの使用頻度や活用に差がある

【提案】 Scratchを取り入れた授業（数学・理科・社会など）
他の中学校（地方や海外）との交流授業

◆ALTの先生の配置について

【提案】・ALTの先生方のローテーションシステムの導入

ご清聴ありがとうございました

第二中学校

武蔵野の生活を

快適に

全教室にエアコンを

エアコンを設置されていない場所

- ①武道場 :地下
- ②生徒会室:3階

エアコンが設置されていない室温

※外気が37℃の場所

1階	31.4℃
2階	34.5℃
3階	35.2℃
地下	25.0℃

室内熱中症

室温が28℃以上になると室
温熱中症の可能性が高くなる

①武道場

☆現在の暑さ対策

水筒

☆使用時間

16時～18時、夏休み

②生徒会室

- ☆現在の暑さ対策
扇風機2台
- ☆使用時間
16時～18時半

〈掃除〉 by山下

生徒から「更衣室が汚い」という意見があった

When : 掃除の時間

Where : 更衣室

Who : 生徒

〈掃除〉 by山下

〈問題点〉

その場を監督、最終確認をする先生が必要

- ・ 掃除のない先生
- ・ その日に掃除がない先生

〈 ? 箱〉 by熊本

ゴミ箱



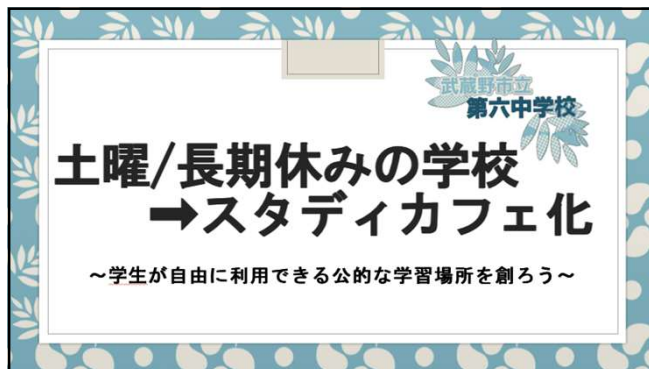
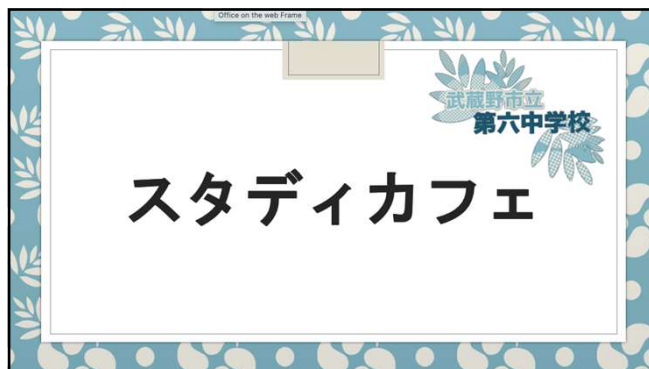


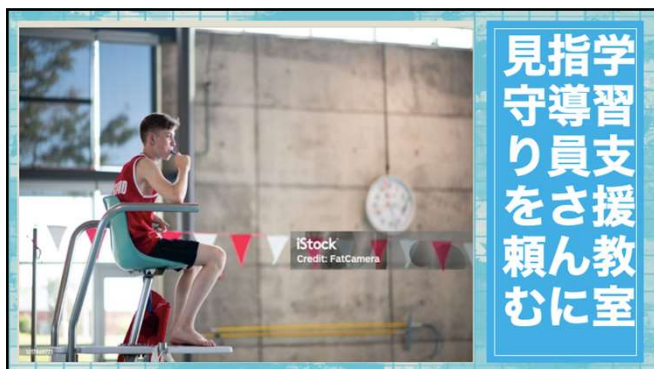
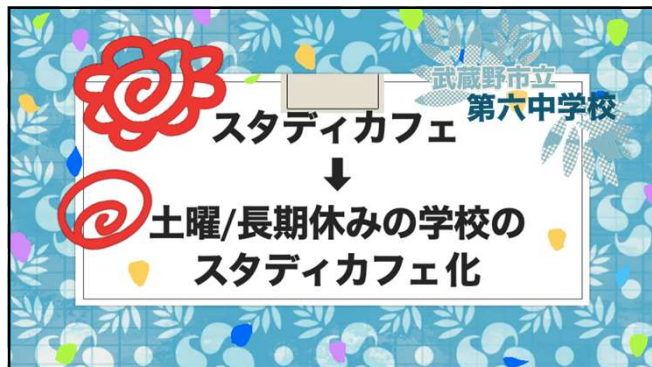
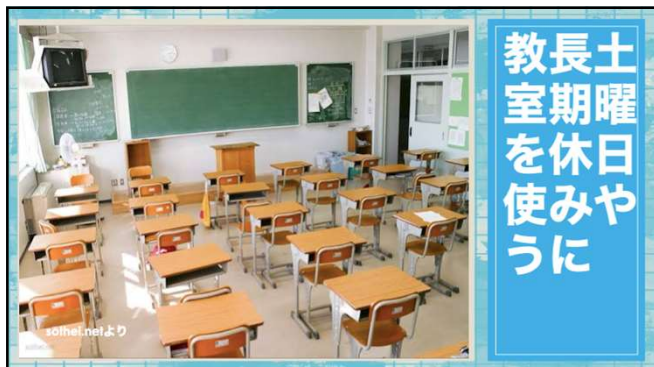


わ席プ
かがレ
ら取イ
なれス
いるは
:か



限喋図コ
られ書ミ
れる館セ
る場でン
:所はや
が



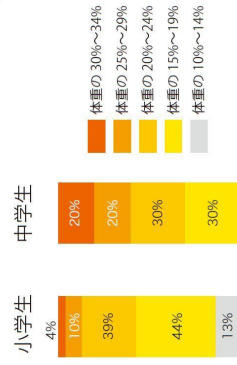


リュックの軽量化について

-武蔵野市立第一中学校-



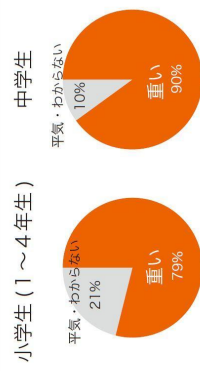
かばん + 教材だけで体重の何%の重さ?



小学生も中学生も毎日体重の15%以上の重さの荷物を提げて登下校している。
米国小児学会によると、子どもの荷物の重量は体重の10%~20%を超えないようにするのが望ましいとされている。

重い荷物が身体の健全な発達に影響を与えている可能性が

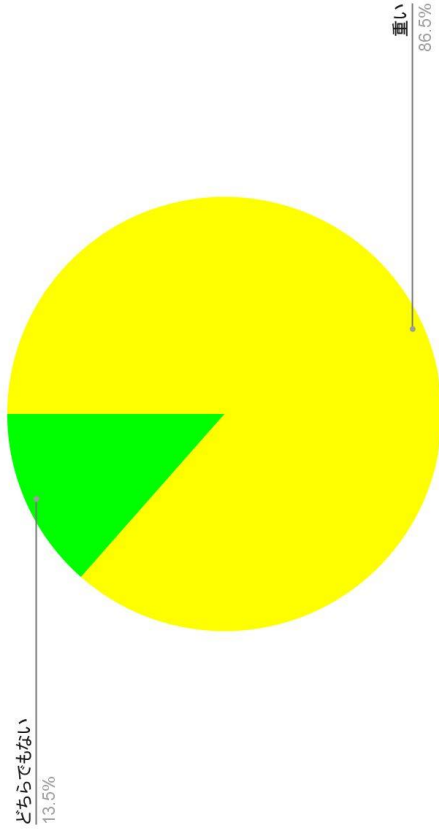
荷物が重いと感じてる?



どうして重い? その中身は?

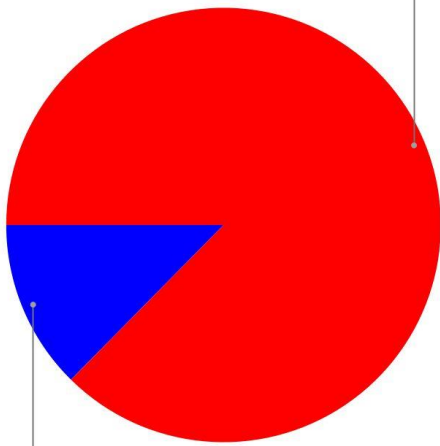
教科書や副教材... 約5kg
絵の具セット... 約1kg
習字セット... 約1kg
鍵盤ハーモニカ... 約1kg
水筒... 約1.5kg
体操着... 約0.4kg
白衣... 約0.4kg
上履き... 約0.3kg
部活や習い事の道具など

Points scored

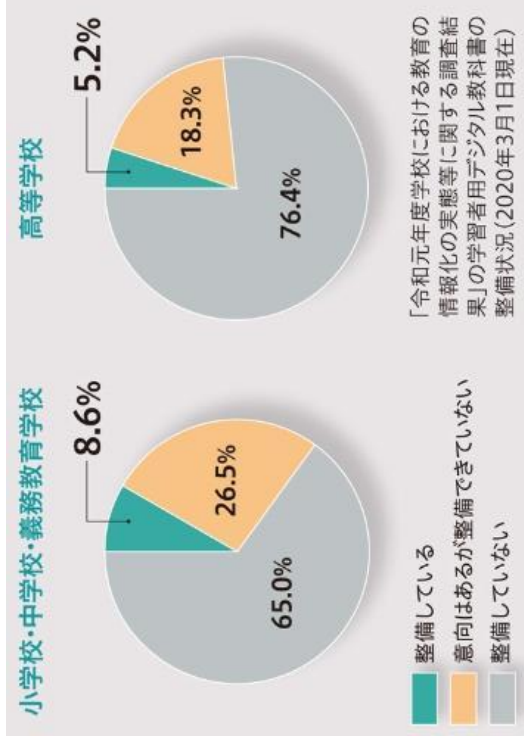
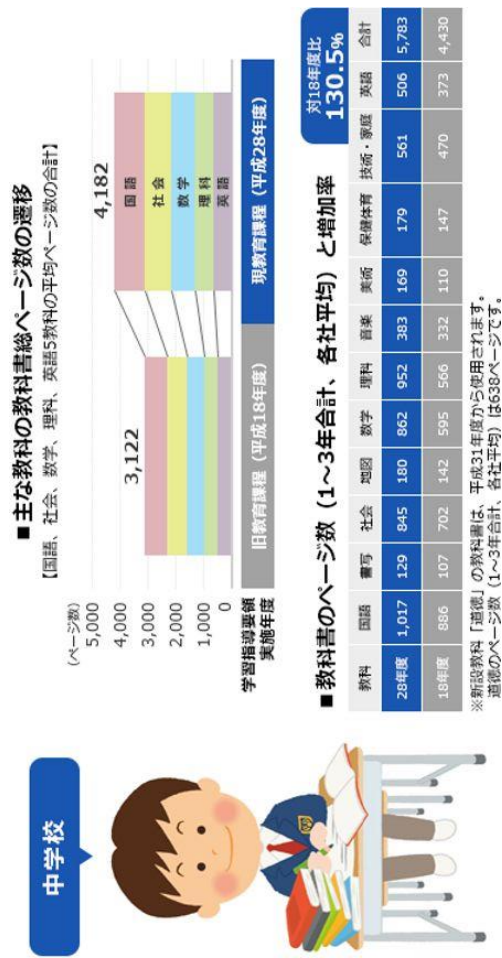


Points scored

どちらでもない
12.6%



してほしい
87.4%



8 アンケート結果

【子ども議員】

1 参加した理由は何ですか（複数回答有）

興味があった	先生に勧められて	その他
2	14	0

2 ミーティングについて

(1) 議会クイズで武蔵野市議会について理解が深まりましたか

大変深まった	深まった	まあまあ理解できた	あまり理解できなかった	全く理解できなかった	未回答
7	6	1	0	0	1

(2) テーマや内容に関する話し合いについて時間は十分でしたか

長すぎた	ちょうどよかった	少し足りなかった	全然足りなかった
0	6	9	0

(3) 他の学校とは交流ができましたか

交流できた	少し交流できた	全く交流できなかった
11	4	0

3 プレゼンは満足できるものでしたか

大変満足	満足	まあまあ満足できた	あまり満足できなかった	満足できなかった	未回答
5	4	4	1	0	1

4 今回子ども議会に参加して、市議会への興味・関心が以前に比べていかがですか

大変興味・関心が高まった	興味・関心が高まった	まあまあ興味・関心が高まった	あまり興味・関心が湧かなかった	全く興味・関心が湧かなかった
7	7	1	0	0

5 今後も機会があれば、子ども議会に参加したいですか

参加したい	検討する	参加したくない
8	7	0

6 今後の子ども議会に対するご意見・ご要望(自由記載)

- ・これからも1年に1回、2年に1回などのペースで続けて行ってほしいです。
- ・交流の時間が少し足りなかったです。ぜひ次はふやしてほしいです。
- ・今後も今回のようにプレゼンできるとよいと思います。議員の方々と直接話すことができ、とてもためになりました。今後もこのような形で参加できたらいいなと思っています。
- ・第1回、2回の集まりでもとても明るい雰囲気に参加しやすかったです！今回と同じ形で開きいただけると楽しく参加ができると思います！
- ・非常に丁寧に質問に答えていただいて、とてもうれしく思います。
- ・引き続きの開催を望みます。
- ・今回は同じ学校の仲間とペアを組み発表するという形式でしたが、子ども議会の集まる機会を増やすことが出来れば他校の人とペアを組んで発表するという形でも面白いと思いました。
- ・もう少し話し合いの時間と説明の時間が欲しかったです。ですが、よい経験ができました。
- ・もう少しパワーポイント・原稿のほうの提出日が先のほうがありがたいと感じました（2日程度…）。
- ・もう少し発表の時間があった方がよかったなと思う。他校との交流もとても楽しかったので、これからも続けて行って欲しいです。
- ・議員さんの考えを知れてとても勉強になった。

- ・思っていたより気軽に話し合うことができました。
- ・ありがとうございました。
- ・私が来年高校生になる予定なので、中学生だけでなく、高校生も参加できる議会をつくってほしいです。

7 市議会に対するご意見・ご要望(自由記載)

- ・今回は子ども議会というすばらしいものを企画していただき、本当にありがとうございます。
- ・この度は貴重な体験をさせていただきありがとうございます。ぜひ私たち中学生の声をより良い形で反映させていただきたいです。
- ・市議会の方々が普段どのようなことを行っているのかもっと発信していくと良いと思います。「目に見える活動」が良いと思います。
- ・私たちの意見についてたくさん考えていただき、うれしかったです！今回はありがとうございました。
- ・(提案について) ご検討よろしくお願いします！
- ・子ども議会の場を開いていただきありがとうございました。
- ・特にありません。メンバー追加の無茶な要望に応えて下さり、ありがとうございました。
- ・(提案について) ぜひご検討をお願いします。
- ・これからもがんばってください。
- ・この機会に市について理解を深められた。
- ・これからもよろしくお願いします。



【傍聴者（保護者や学校関係者等）】

・良かった点：普段の生活では、市長や市議会議員の顔や発言が分からないので、良い機会だと感じた。改善が必要な点：中学生議員からの意見をどう扱うのか不明である。この場を作って終わりだと、大人の自己満足であると思う。資料提出をするために貸与された PC からメールがスムーズに送れなかった。子ども議員からの提案にあったように、フィルタが過剰に設定されているように感じる。

・子ども達の普段考えている事、意見をお聞きして一言素晴らしいと思いました。私達は子ども達が子どもらしく元気で明るく学校生活を送れるよう万全の体制を期することが大切と痛感しました。今後は、子ども達からこの子ども議会に対する意見をお聞きしてブラッシュアップしていくことが重要かと思います。

・本日は傍聴という形ではありますが、貴重な経験をさせていただきありがとうございました。生徒もいい経験となったことと思います。一般質問も聞いていて面白いものがたくさんありました。ありがとうございました。意見をひとつさせていただきます。「子ども議会」というと少し小学生ぶさを感じてしまいました。もう少し中学生らしいネーミングになればいいなと感じました。

・生徒にとって貴重な経験だったと思います。引き続きこのような機会があればいいと思います。提案等がその後どうなったのかを各学校の生徒に市のホームページ等を通じて共有するといいかもしれません。

・子供達に対し、生の声を聴いて頂く機会を頂いてありがとうございます。また、答弁は真摯な回答をして頂くことで、子供達は納得できたのではないのでしょうか。今回の内容はぜひ市内にも周知して頂きたいと思います。子供達がどんなことを考え、提案したのか知ること、より社会の動きが活発になることを期待します。今回は、市立中学校の代表者の発表でしたが、取り残されが無いように色々な立場の子供達の声を聴いて頂きたいと思います。

・こども議会の開催によって、議会や市政について、そして学校生活について改めて考える良い機会になったと思います。実現可能かどうか考えることも大事ですが、まず問題提起することに繋がって良かったと思います。発表の原稿やパワーポイントの作成に関してですが、生徒は 1 人一台 Chromebook を配布されているので、Google のアプリでの作成でした。

発表で使用するパソコンも Chromebook だとパワーポイントにわざわざ変換したりせず、市や学校間で共有しやすくなりなり手間は省けるのかなと思いました。学習者用タブレットの活用についてもこども議員から話があったので、ご検討よろしくお願いします。

・本日は、とても有意義な時間を過ごせました。ありがとうございました。大人の私にとっても子ども議会開催のおかげで初めて議会を傍聴する事が出来て感激でした。子ども議員の素晴らしい質問等に感動し、議員の方の丁寧な答弁にも感謝いたします。どのお子さんも堂々と話す姿は立派でした。青少年の意見も取り入れて武蔵野市がより住みやすくなると良いなと思いました。今回は学校から参加を勧められたようですが、ぜひ、2 回、3 回と回を重ねて自主的に参加したいお子さんも貴重な体験が出来るといいなと思いました。

・今回このような初めての試みに子供が参加でき、とても貴重な経験となりました。

生徒会の立候補は公約を二つ掲げ、どの様に実行するかまで詳細を書き提出し、応援演説者 2 名を決めて立候補となります。生徒会へ当選しても、生徒会の日々の仕事をこなす事で中々子供自身、

自分の公約を実行するのは難しいと感じていました。そんな中、このような子ども議会がある事により、公約を一步でも前進する事が出来ました。

他の学校の内容を聞いていても、実際に学校で困っている事を議題に挙げている学校が多く、中学生のリアルな声を聞けたこと、発表に至るまでの下準備にしっかりと時間をかけてやった事、子供たちの熱い思いを感じました。また子供たちの内容について、市長をはじめ議員の方々がしっかりと耳を傾けて、一つ一つに市や国の情報も添えて答えてくださった事がとても良かったです。

子供達の意見を否定する事なく、認めて褒めて、足りない所はフォローしながら上手く回答して下さった事、更には、市役所の市議会本会議場という大舞台で議員になっての発表は子供たちにとって今後様々な事に挑戦する時の自信の糧になったと思います。

市議会議員の方々には第一回ミーティングから本番まで様々な準備やご苦勞があったと思います。ありがとうございます。

子供としては第一回のミーティングでは武蔵野市の他の中学校の人達と学校の情報を交換できた事とても楽しく面白かったと言っていました。本番までは会って打ち合わせをしたり、会えない時はオンラインで情報共有をしてタブレットを上手く使っていました。本番を終えてはとてもほっとした事、やり終えた達成感、一緒に発表した仲間との絆、多くのものを得る事が出来ました。本当にありがとうございます。

・中学生の議員という職場体感的な経験としては良いと思いました。中学生の自由な発想が、今後の市の施策に活かされると参加者の充実度は更に高まると思います。

・中学生にとって貴重な機会をいただきました。議会事務局の皆様、ありがとうございました。

・現役の中学生が学校生活において感じていること、その課題を分かりやすく説明し、改善策まで提案するすばらしい企画だったと思います。市議会本会議場を活用する判断、中学生にとって忘れられない経験になったと思います。ここまでの準備大変お疲れさまでした。女子生徒が多いことが気になりました。

・中学生がリアルに考えることについて率直な聞いて、とても勉強になりました。市政の力もかりながら、改善していけたらいいなと心から思いました。ありがとうございました。

・中学生自身が日常生活で感じる希望なので切実な思いを感じられました。「現場の意見」を言う機会としてとてもいいものではないかと思います。

自転車についての小学校時の講習実施やリュックの重さについて、子どもたちの大切な健康に関わることについて当事者のお子さんから要望を伺うことが出来、大変貴重な機会でした。また発表の機会を子供達にいただけた事に感謝します。ありがとうございました。

・ありがとうございました。中学生の力量におどろきました。視点のするどさや資料の素晴らしさに感心するばかりでした。また市議のみな様には、子ども達の陳情を真剣に考えてくださり、また学校の悩み？に関しても小さい事とせず、更に視野を広げていける様な言葉がけをしてくださり感謝でした。今後もし是非子ども達に経験させていただきたいです。

9 その他写真

☆第1回ミーティング☆





☆第2回ミーティング☆





☆当日発表前







☆発表後☆



令和 6 年度 武蔵野市子ども議会 会議録

令和 6 年 11 月発行

武蔵野市議会

